

Evergreen Audio

リファレンスガイド

Meter Bridge Application, Meter Bridge Pro Application, Mini Meter, Massive Meter Plugin,
and Massive Meter Pro Plugin



Table Of Contents

	4
	5
	5
	5
	5
	5
	6
	6
	7
	8
	11
	11
	11
	14
	14
	14
	16
	16
	16
	16
	16
	16
	17
	18
	18
	20
	20
	21
	21
	24
	26
	29
	30

システム、メーター、メーターグループの両方の表示と非表示 - アプリケーション	33
メーターとシステムの整理 - アプリケーションのみ	34
タイムコードディスプレイ - Meter Bridge Pro のみ	36
MTC入力ソース設定	36
タイムコードディスプレイのカスタマイズ	36
Last Frame Of Action	37
Frame Rate	37
Load File	37
Clear File	37
Last Frame Of Action File Format	37
ショートカット	38
マウスショートカット	38
メータースケールの変更	38
システムまたはメーターの順序	38
個別メーターへのズームイン／アウト	38
フォールドダウンメーター - Meter Bridge Proデスクトップアプリケーション	38
キーボード・ショートカット - Meter Bridge Proデスクトップアプリケーション	39
環境設定(Preferences)	40
Metering - アプリケーションおよびプラグイン	41
Preset - アプリケーションおよびプラグイン	42
プリセット例	43
Meter Type - アプリケーションおよびプラグイン	43
Meter Typeの種類	43
Peak Hold - アプリケーションおよびプラグイン	43
Peak Hold時間	44
Clip Indicator - アプリケーションおよびプラグイン	44
Clip Hold時間	44
Tick Marks - アプリケーションおよびプラグイン	44
Tick Markの種類	45
Segment Size - アプリケーションおよびプラグイン	45
Segment Size	45
Max Meter Bar Width - アプリケーション	45
Show Meter Name - アプリケーションおよびプラグイン	45
Meter Name On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン	45
Show Channel Label - アプリケーションおよびプラグイン	45
Channel Label On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン	46
Show Meter Values - アプリケーションおよびプラグイン	46
Meter Values On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン	46
Signal Present Indicator - アプリケーションおよびプラグイン	46

Segmented Style - アプリケーションおよびプラグイン	46
Display - アプリケーションおよびプラグイン	46
Refresh Rate - アプリケーションおよびプラグイン	48
Use Small Header - アプリケーションのみ	49
Always On Top - アプリケーションのみ	49
Rows In Universe View - アプリケーションのみ	49
Meters Per Row - アプリケーションのみ	49
Spacing Between Meters - アプリケーションのみ	49
Universe View - アプリケーションのみ	49
One System Per Row - アプリケーションのみ	50
Display Peak/Clip In Pop Up - アプリケーションのみ	50
Peak Level For Pop Up - アプリケーションのみ	50
Follow Plugin Colors - アプリケーションのみ	50
Follow Plugin Order - アプリケーションのみ	50
Color - プラグインのみ	50
Meter Color	51
Plugin - プラグイン	51
Custom Track Name - プラグイン	52
Meter Delay - Massive Meter Pro プラグイン	53
System - アプリケーションおよびプラグイン	54
System Name - プラグイン	55
Network Interface	56
Version	56
Timecode - アプリケーションのみ	57
MTC Input	58
Display In Meter Window	58
Use Small Header	58
Always On Top	58
Audio Devices - アプリケーションのみ	59
Default Meter Name	59
Meter Bridge iOSの制限事項	60
About Us	62

イントロダクション

Evergreen Audioは、音楽、ポストプロダクション、ライブサウンド、放送スタジオで、柔軟で設定可能な方法でオーディオ・メーター監視するためのツールコレクションを提供します。このツールは、プロのミックス・エンジニアがより速く、より正確に、より効率的に作業できるよう、洗練されたツールを提供します。

Mini Meterプラグイン(Pro Tools AAXおよびVST3)、Massive Meterプラグイン(Pro Tools AAXおよびVST3)、またはMassive Meter Proプラグイン(Pro Tools AAX NativeおよびDSPおよびVST3)は、スタンドアロン・プラグインとして、またはMeter BridgeおよびMeter Bridge Proアプリケーションと組み合わせて動作し、すべてのメーターを1つのフレキシブルな表示に展開します。

MacOSとiOS用のMini MeterとMeter Bridgeは、小規模なスタジオや教育環境向けに洗練されたメーターソリューションを作成するための無料のメータープラグインです。

Massive MeterとMassive Meter Proにステップアップし、Meter BridgeおよびMeter Bridge Proと組み合わせると、ワークフローに必要なメーターを正確に計測するための高度なメタリングと様々なカスタマイズが可能になります。

複数のミックス・エンジニアと作業する場合、各エンジニアは各自のMeter Bridge Proアプリケーションを使用し、最も適切なメーター・プラグインを設定して表示することができます。これにより、各ミックス・エンジニアは他のエンジニアから独立して、メーター情報を個人的にアレンジして表示することができます。

製品概要

Evergreen Audio製品には、シンプルなワークフローから非常に高度なワークフローまで、単独または組み合わせて使用できるソフトウェアがいくつかあります。

Mini Meterプラグイン

Mini Meter プラグインは、シグナルチェーンに配置されたオーディオ信号を測定するためのデジタルオーディオワークステーションプラグインです。Mini Meterプラグインは、Avid Pro Tools AAX NativeフォーマットとSteinberg VST3フォーマットをサポートしています。Mini Meterはモノおよびステレオフォーマットをサポートします。Mini Meterは、Sample Peak、RMS、K-12、K14、K-20を含む基本的なメーター機能を提供します。

Massive Meterプラグイン

Massive Meter プラグインは、シグナルチェーンに配置されたオーディオ信号を測定するためのデジタルオーディオワークステーションプラグインです。Massive Meterプラグインは、Avid Pro Tools AAX NativeフォーマットとSteinberg VST3フォーマットに対応しています。Massive Meterは、モノ、ステレオ、サラウンド・サウンド・フォーマットをサポートします。Massive Meterは、Sample Peak、RMS、K-12、K14、K-20、Linear、VU、Digital VUを含むメーター機能を提供します。

Massive Meter Proプラグイン

Massive Meter Proプラグインは、シグナル・チェーンに配置されたオーディオ信号を測定するためのPro Tools AAXプラグインです。Massive Meter Proプラグインは、HDXハードウェア用のAvid Pro Tools AAX DSPフォーマットと、ホストベースのプラグインとして動作するAAX Nativeフォーマット、およびVST3の両方をサポートしています。Massive Meter Proは、モノ、ステレオ、サラウンド・サウンド、イマーシブ・フォーマットをサポートします。Massive Meterは、Sample Peak、RMS、K-12、K14、K-20、Linear、Dorrough、VU、Digital VU、Digital PPMを含む基本的なメーター機能を提供します。Massive Meter Proプラグインには、Massive Meterプラグインと同じ優れた機能とメーター・スタイルがすべて含まれています。

Meter Bridge Desktop Application

Meter Bridgeデスクトップアプリケーションは、多数のMini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインを1つのビューでメータリングすることができます。また、Meter Bridgeは、CoreAudio単独でも、Mini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインと組み合わせて、モノラルまたはステレオ・フォーマットで最大8チャンネルのオーディオをメーターできます。

Meter Bridge iOSアプリケーション

Meter Bridge iOSアプリケーションは、Meter Bridgeの機能をApple iPadのコンパクトなフォルムで可能にします。Meter Bridge for iOSは、Mini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインを表示するために使用できる無料のコンパニオン・アプリケーションです。Meter Bridge iOSアプリケーションは、CoreAudioデバイスのメーターには対応していません。

Meter Bridge Pro Desktopアプリケーション

Meter Bridge Proデスクトップ・アプリケーションは、多数のMini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインを1つのビューでメータリングできます。また、Meter Bridge Proは、単独で、またはMini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインと組み合わせて、CoreAudioを通して最大384チャンネルのオーディオをメーターすることができます。

インストレーション

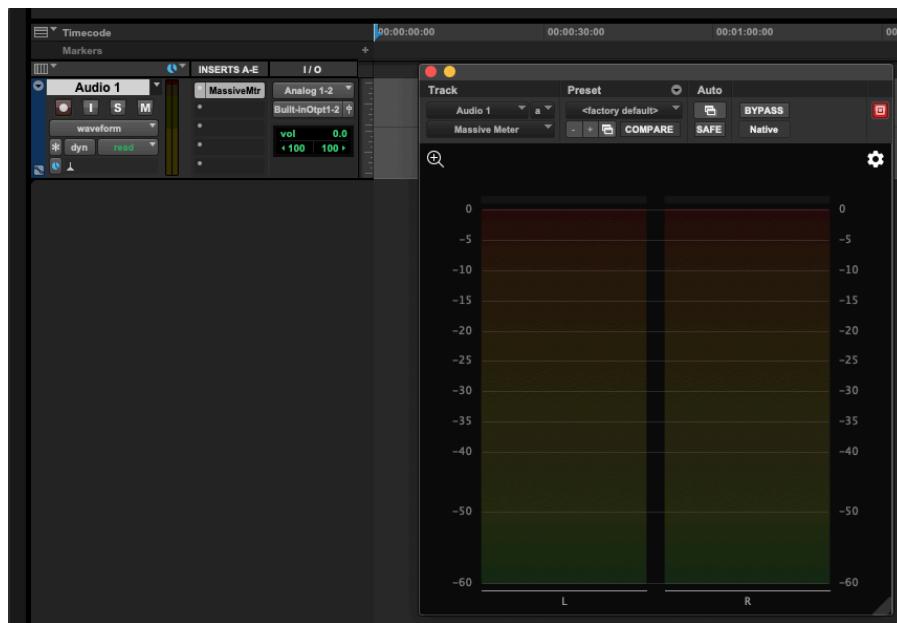
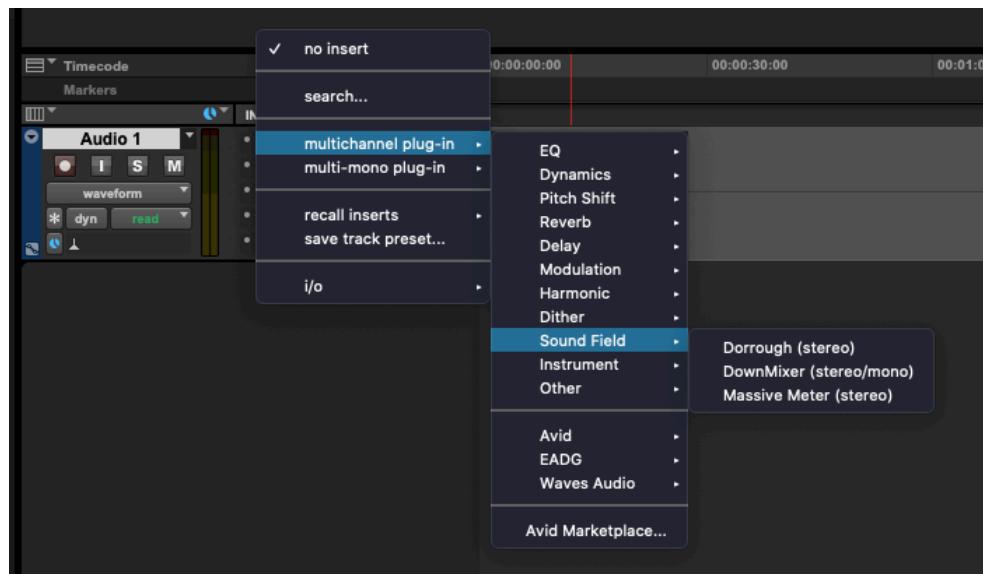
各製品のインストーラーがあります。コンビネーションインストーラー(Evergreen Audio.pkg)はエバーグリーンオーディオの全製品をインストールし、特定の製品のインストールを可能にします。個別インストーラーは、各製品を素早く簡単にインストールすることができます。

Pro Tools上では、Massive MeterプラグインはEvergreen Audio社名でグループ化され、Sound Fieldカテゴリーに表示されます。

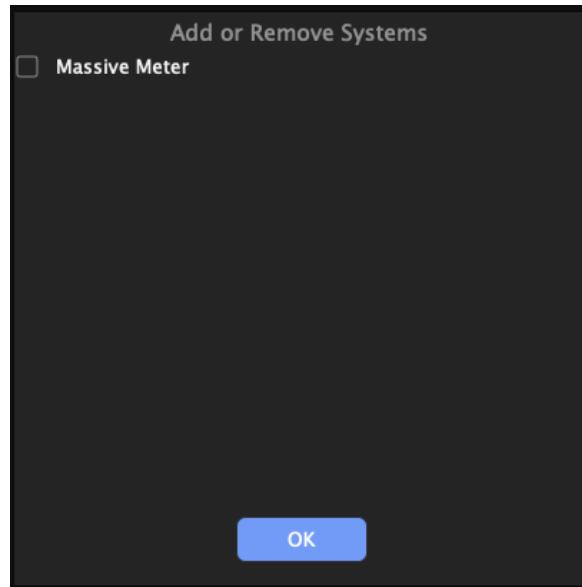
Getting Started - Quick Start

まず最初に、Pro Toolsを起動し、Mini Meter、Massive Meter、またはMassive Meter Proプラグインを対象のトラックにインサートし、Meter BridgeまたはMeter Bridge Proアプリケーションを起動します。

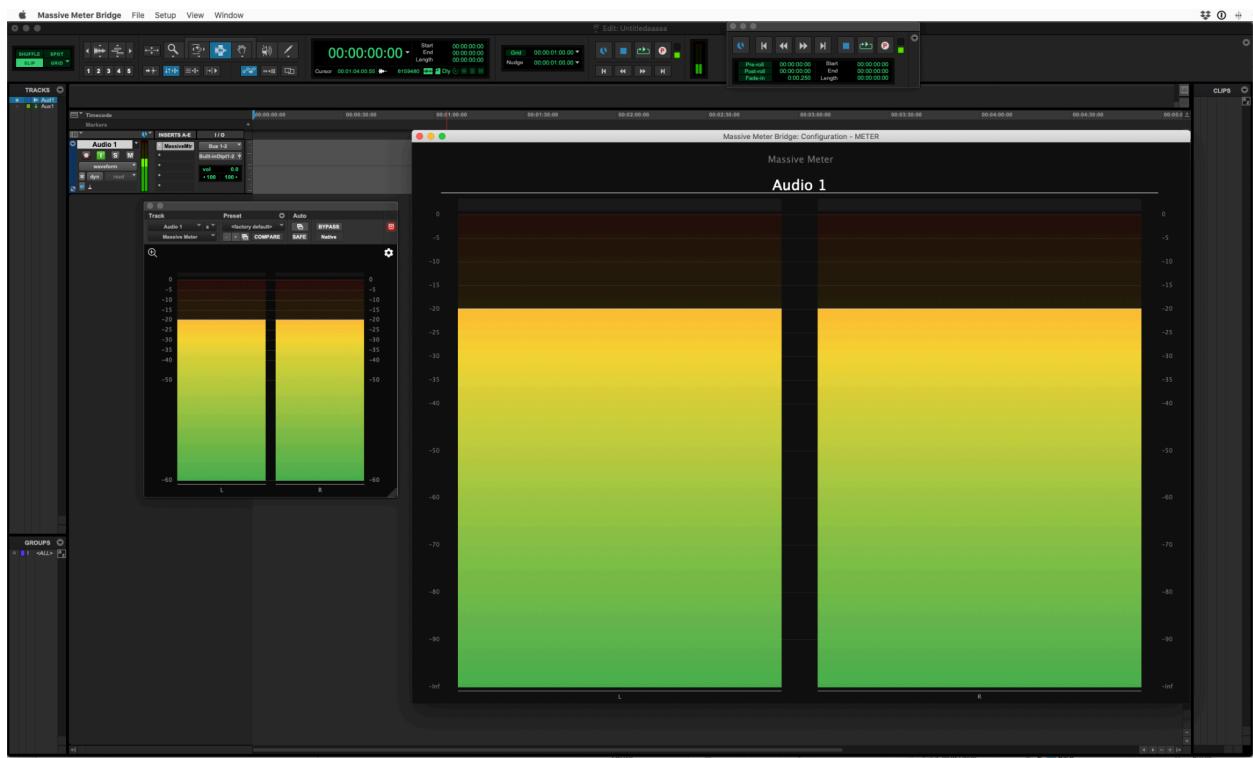
プラグインはEvergreen Audioの社名で、Sound Fieldのカテゴリーから選択できます。



Meter Bridgeアプリケーションを起動すると、Configurationドキュメントが作成され、Add and Remove Systemsダイアログが開きます。Massive Meterプラグインと現在選択されているCoreAudioデバイスを含むPro Toolsシステムが、Massive Meterとして表示されるはずです。Massive Meterのチェックボックスを選択し、OKをクリックします。



システム「Massive Meter」および Massive Meter プラグインは、Meter Bridge アプリケーションのメイン・ユーザ・インターフェースに表示されます。



設定とテンプレート - Meter Bridge Proのみ

Meter Bridge Proアプリケーションは、Pro Toolsシステムで使用されているMassive Meterプラグインの自動検出と接続とともに、レイアウトの保存と復元をサポートします。これにより、複雑なワークフローを管理する際のセットアップや設定時間を最小限に抑えることができます。

設定

Meter Bridge Pro Configurationは、ご使用のPro Toolsシステム情報を保存することができます。これにより、接続された Pro Tools システムの固有の識別が保存され、Pro Tools システムにある Meter プラグインが表示されます。

新しいコンフィギュレーションを作成するには、File メニューから New Configuration オプションを選択します。新規コンフィグレーションを作成するショートカットは command-n です。

テンプレート

Meter Bridge Pro Templateは、Pro Toolsのシステム名 (Massive Meter Plugin Settingsで設定) とMassive Meterプラグイン名に基づいて特定のテンプレートを作成するメカニズムを提供します。

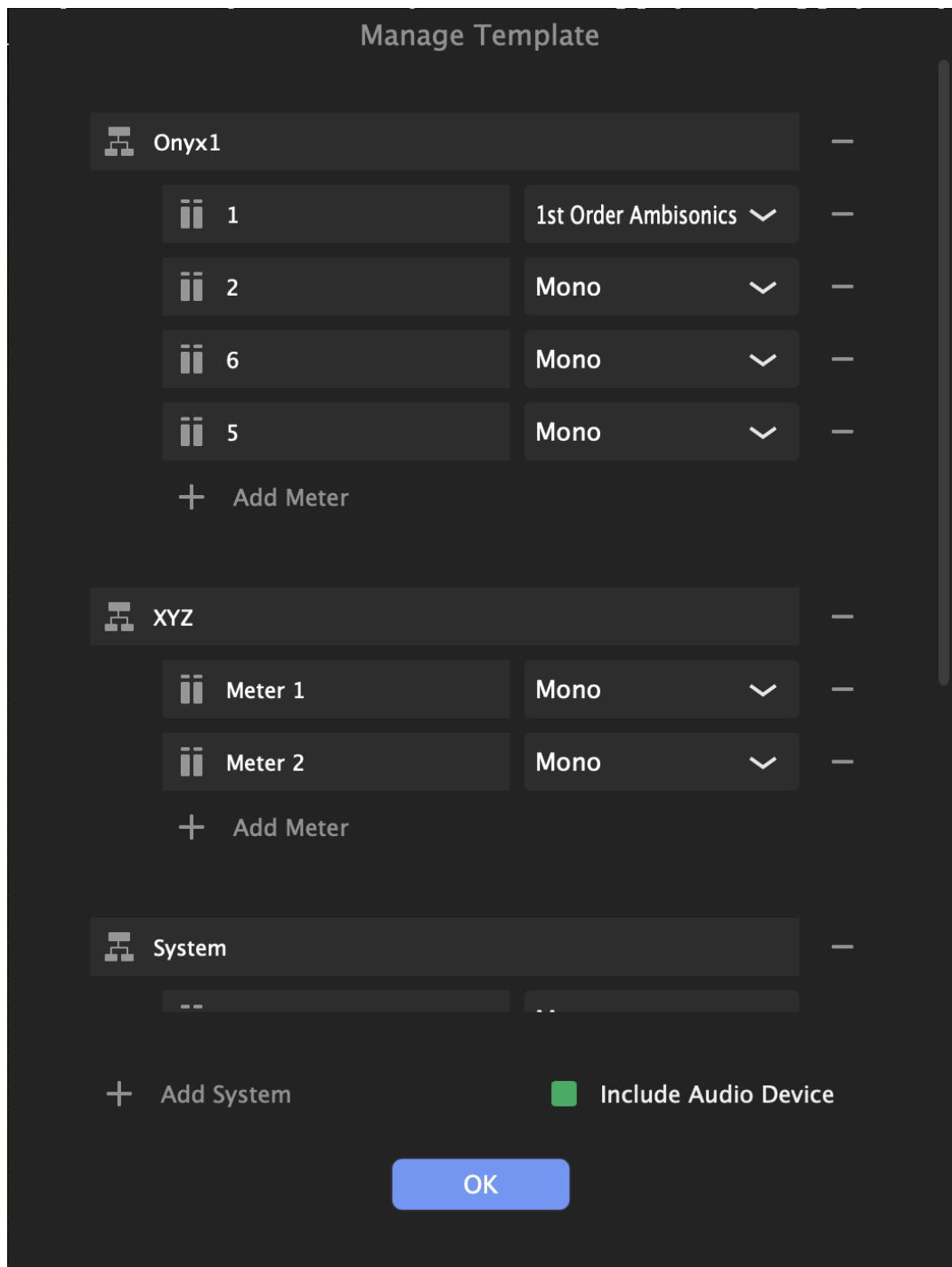
テンプレートにより、ミックス・エンジニアは、一般的な名前にに基づいて、Pro Toolsテンプレートと一致するテンプレートを作成できます。Meter Bridge Proは、指定されたPro Toolsシステムと、指定されたMassive Meterプラグインに自動的に接続します。これにより、ミックス・エンジニアはPro Toolsセッションを切り替えて、多くのセッションで同じMeter Bridge Proテンプレートを使用できます。

新しいテンプレートを作成するには、FileメニューからNew Templateオプションを選択します。新しいコンフィギュレーションを作成するショートカットは command-t です。

テンプレートを設定するには、SetupメニューからManage Templateオプションを選択します。Manage Template ウィンドウを開くショートカットは command-shift-m です。

+とーのアイコンを使用して、システムとメーターの両方を追加および削除します。テキスト編集フィールドを使用して、システムとメーターの名前を変更します。ポップアップメニューを使用して、特定のメーターのチャンネルフォーマットを選択します。

"Include Audio Device "チェックボックスは、現在のCoreAudioデバイスをテンプレートに追加します。CoreAudioデバイスは、選択されたオーディオデバイス設定に基づいて表示されます。



Manage Template Window

Configurationをテンプレートとして保存

テンプレートの作成を簡単にするために、コンフィギュレーションをテンプレートとして保存できる「コンフィギュレーションをテンプレートとして保存」機能があります。ファイルメニューの下に"Save As Template"というメニューoptionがあります。このoptionは、コンフィギュレーションファイルが開いているときに利用できます。Save As Templateを選択すると、標準の名前を付けて保存ダイアログが表示され、コンフィグレーションをテンプレートとして保存することができます。

オーディオデバイス・セッティング

Meter BridgeとMeter Bridge Proアプリケーションは、カスタマイズされたメーター・レイアウトでCoreAudioデバイスのメータリングをサポートします。

この機能は、macOS版のMeter BridgeとMeter Bridge Proでのみ利用可能です。

Meter Bridgeアプリケーションは、最大8チャンネルのCoreAudio入力をサポートし、モノラルとステレオの両方のメータリングをサポートします。

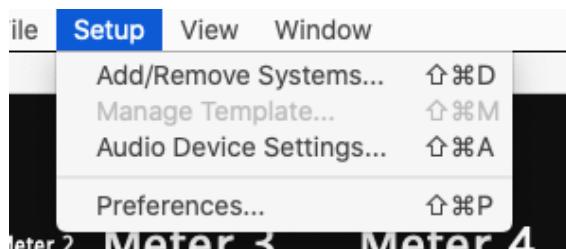
Meter Bridgeアプリケーションは、最大3848チャンネルのCoreAudio入力をサポートし、メーター用のすべての標準フォーマットをサポートします。

CoreAudioメータリング

Meter BridgeとMeter Bridge Proアプリケーションは、CoreAudioデバイスのメーター表示とメーター・レイアウトのカスタマイズが可能です。

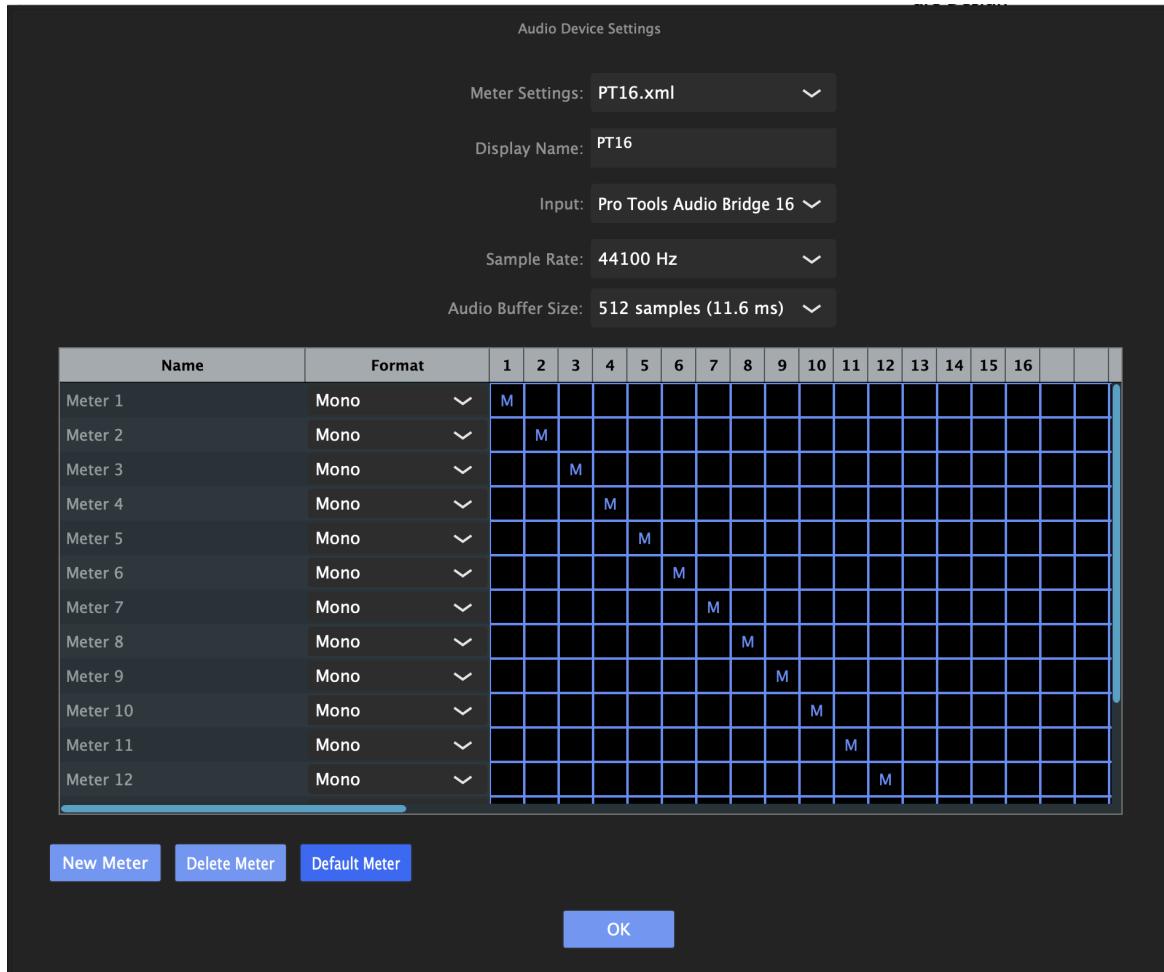
オーディオデバイス・セッティング・メニュー

CoreAudioのメーター機能を有効にするには、「Setup」メニューの下にある「Audio Device Settings...」メニュー項目を開きます。このダイアログはcommand-shift-aでも開くことができます。

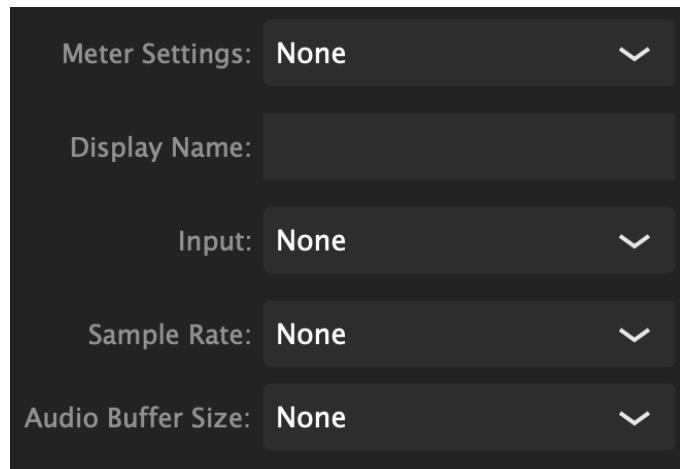


オーディオデバイス・セッティング・ダイアログ

Audio Device Settingsダイアログでは、特定のCoreAudioデバイスのメーター設定を作成、ロード、変更できます。



Audio Deviceの設定ファイルは、書類フォルダの「Meter Bridge Device Settings」フォルダに保存されています。パソコン間を移動する際に、このフォルダに設定ファイルをコピーすることができます。



Meter Settings

Audio Device Settingsでは、Meter Settings ポップアップメニューを使用して既存の設定を選択できます。この設定は、現在選択されている設定ファイルを表示し、「Meter BridgeDevice Settings」フォルダに保存されている利用可能な設定を一覧表示します。

Display Name

Audio Device Settingsでは、特定のCoreAudioデバイスに表示される名前を設定できます。これにより、表示されるデバイス名をカスタマイズして、オーディオデバイスの追加ウィンドウやメインウィンドウでの識別や管理を容易にすることができます。

Input

Inputポップアップメニューには、現在選択されているCoreAudioデバイスと、その他の使用可能なCoreAudioデバイスが表示されます。選択されているCoreAudioデバイスを変更するには、ポップアップをクリックし、別のCoreAudioデバイスを選択します。

Sample Rate

Audio Device Settingsでは、CoreAudioデバイスのサンプルレートを設定できます。複数のソフトウェアが同じCoreAudioデバイスを使用している場合、この設定を変更すると、デバイスを使用しているすべてのソフトウェアのサンプルレートが変更されますのでご注意ください。

Buffer Size

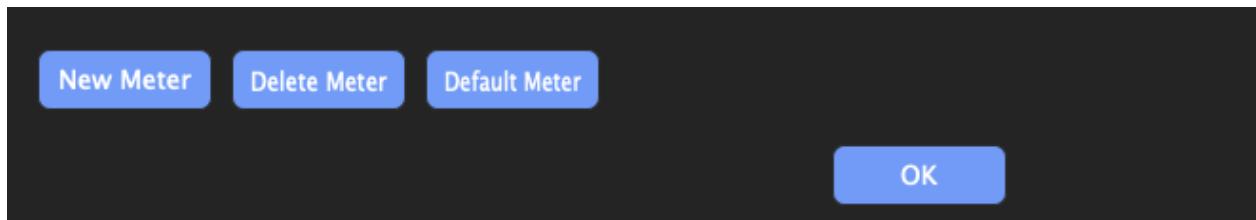
Audio Device Settingsでは、CoreAudioデバイスのバッファサイズを設定できます。複数のソフトウェアが同じCoreAudioデバイスを使用している場合、この設定を変更すると、デバイスを使用しているすべてのソフトウェアのバッファサイズが変更されることに注意してください。

新しいメーターの作成、削除およびデフォルトメーター

“New Meter”ボタンを押すと、新しいメーターが作成され、一列に表示されます。

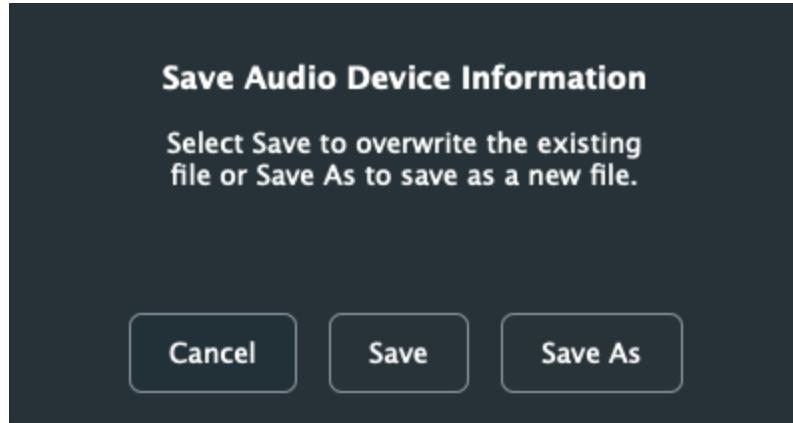
“Delete Meter”ボタンは、選択された行に関連するメーターを削除します。行を選択し、“Delete Meter”ボタンをクリックします。

“Default Meter”ボタンを押すと、CoreAudioデバイスで使用可能なチャンネルごとに新しいメーターが作成されます。



変更保存とキャンセル

"OK"ボタンをクリックするとAudio Device Settingsダイアログが閉じ、変更をキャンセルするか、既存のファイルに保存するか、新しいファイルに保存するかを選択できます。



変更がない場合、OKボタンはキャンセル、保存、名前を付けて保存を促すことなくダイアログを閉じます。

メーター情報の変更

各メーターは、その名前、フォーマット、チャンネルマッピングを変更することができます。

メーターネームを変更するには、メーターネームのテキスト表示をダブルクリックします。ダブルクリックすると、このフィールドが編集可能になります。新しい名前を入力し、エンターキーを押して保存します。

Name	Format	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
Meter	Mono	▼	C																	
Meter	Mono	▼		C																
Meter	Mono	▼			C															
Meter	Mono	▼				C														
Meter	Mono	▼					C													
Meter	Mono	▼						C												
Meter	5.1 Surround	▼		C	R	Ls	Rs	LFE												

メーターフォーマットは、ポップアップをクリックして表示されている使用可能なすべてのフォーマットから選択することで変更できます。新しいフォーマットを選択すると、チャンネルマッピングがクリアされます。

入力チャンネルをメーターチャンネルにマッピングするには、I/O セクションからメーターラベルを適切なチャンネルにドラッグ & ドロップするだけです。チャンネルのマッピングは、メーターラベルを新しいチャンネルにドラッグ & ドロップするか、I/Oセクションに戻すことで変更できます。

メーターのカスタマイズと管理 - Meter Bridge Proのみ

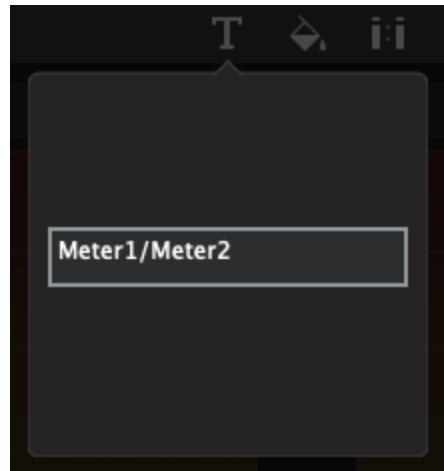
Massive Meter BridgeアプリケーションとMassive Meterプラグインは、メーターのカスタマイズと管理のための多くの機能が用意されています。。

メーターネーム

Meter Bridge Proアプリケーションでは、メーターネームをクリックして **T** アイコンを表示することで、メーターネームとリンクされたメーターネームを変更することができます。これにより、テキスト編集フィールドが表示され、メーターネームを変更することができます。

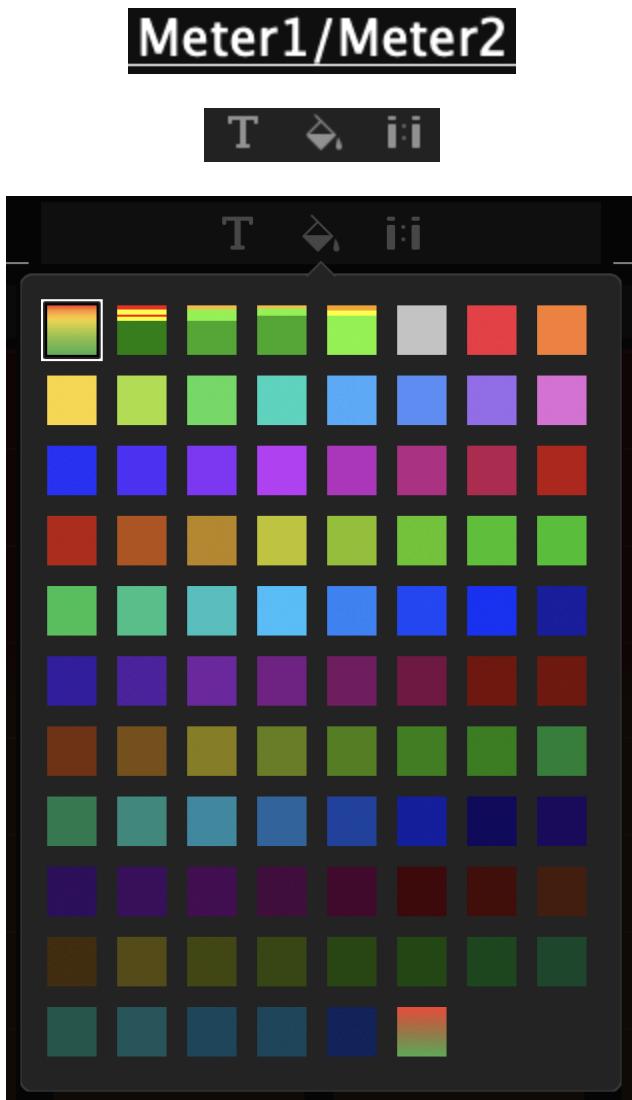
リンクされたメーターの場合、メーターネームを空に変更すると、メーターネームはリンクされたメーターネームの組み合わせである元の名前に戻ります。

Meter1/Meter2



メーター・カラー

Meter Bridge Proアプリケーションでは、メーターネームをクリックして  アイコンを表示することで、メーターの色を変更することができます。メーターの色を選択するカラーピッカーが表示されます。



メーター・スケーリング

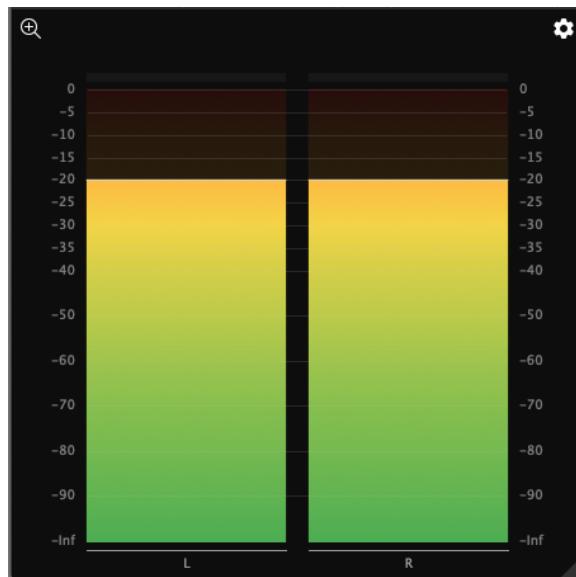
Meter Bridge Pro アプリケーションと Massive Meter プラグインは、フレキシブルなメーターインジケーターのスケーリングをサポートしています。Meter Bridge Pro アプリケーションでは、スケーリングはすべてのメーターに適用されます。Massive Meter プラグインでは、各プラグインに独自のスケーリングを設定できます。

スケーリングは、カスタマイズされたビューを作成し、重要度の高いある特定の範囲に焦点を当てるために使用することができます。

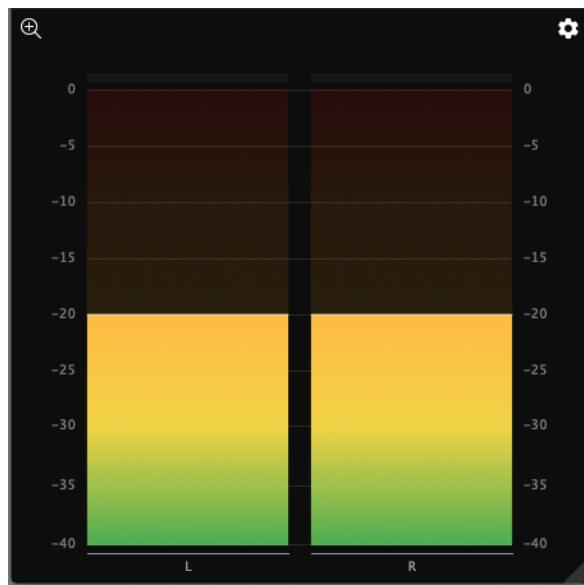
スケーリングを変更するには、メーターインジケーターの左右にある目盛りマークインジケーターをクリックしてドラッグします。この操作により、表示のスケーリングが変更されます。値がスケールの一番下に移動されると、表示するスペースがないときに値が一番下に隠されます。

個々のスケール・ポイントを変更するには、コマンド・キーを押しながらスケール・ポイント・ラベルをドラッグします。

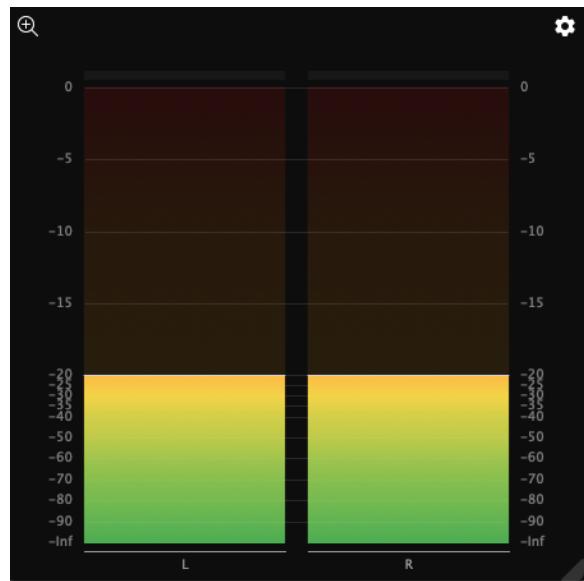
スケーリングをデフォルト値に戻すには、目盛りマークをダブルクリックします。



デフォルトのスケーリング



最小値に変更したスケール



0dBから-20dBにフォーカスを当てたスケーリング

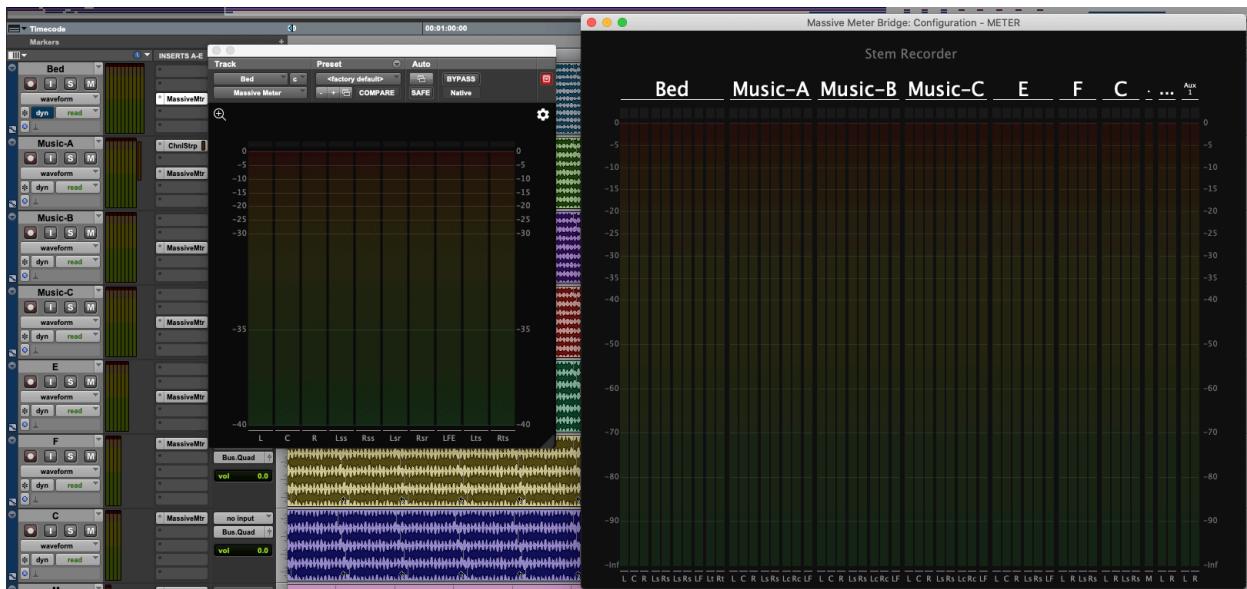
メーター・フォーカス - Meter Bridge Proアプリケーションのみ

Meter Bridge Proアプリケーションは、メインウィンドウいっぱいにメーターをズームすることで、特定のメーターに焦点を当てることができます。

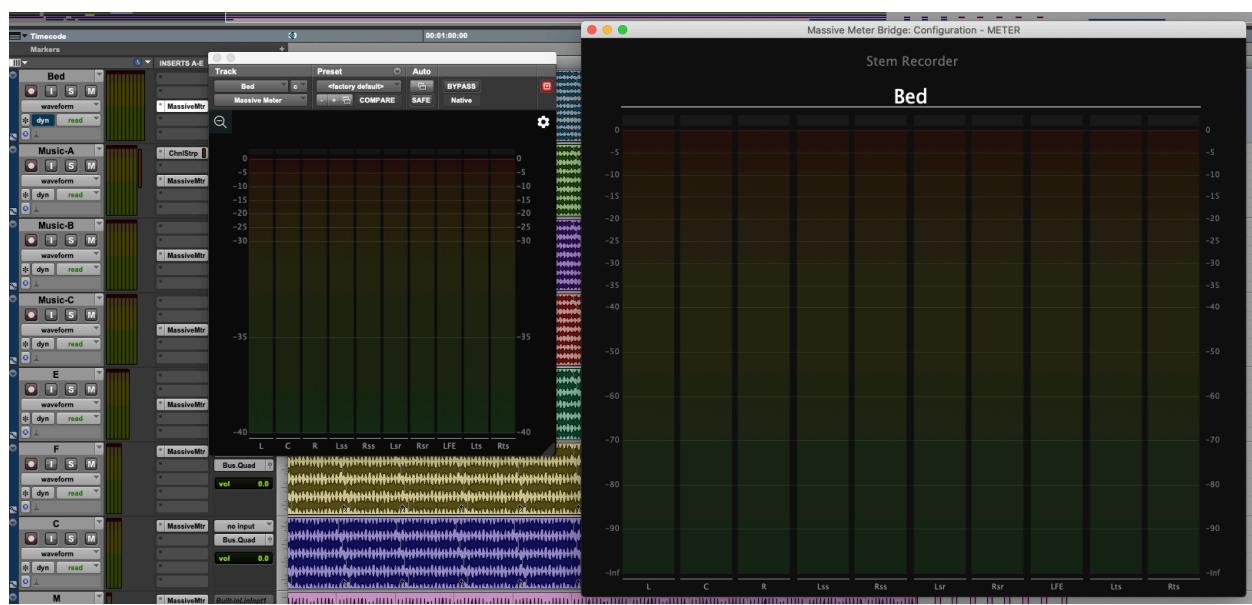
特定のメーターにフォーカスを当てるには、メーターインジケーターをダブルクリックします。

すべてのメーターの表示に戻るには、メーターインジケーターをダブルクリックします。

Massive Meter プラグインは、Meter Bridge Pro アプリケーションのメーターフォーカスを表示し、コントロールする機能を備えています。Massive Meter の虫眼鏡アイコンは、そのメーターのフォーカスの状態を表示し、フォーカスを変更するためのトグルスイッチとして機能します。虫眼鏡をクリックすると、Meter Bridge Pro アプリケーションでフォーカスが当たっているメーターが変更されます。



すべてのメーターの標準的な表示



Bedメーターにフォーカスを当てた表示

メーターフォールドダウン - Meter Bridge Proアプリケーションのみ

Meter Bridge Proアプリケーションは、マルチチャンネルメーターから統合モノメーターへのフォールダウンまたはフォールダウンする機能を有しています。

特定のメーターをフォールドダウン表示するには、メーターインジケーターをオプション+ダブルクリックします。

メーターの全チャンネル表示に戻るには、メーターインジケーターをオプション+ダブルクリックします。

メーターがフォールドダウンモードになると、メーターラベルに「CR」と表示されます。

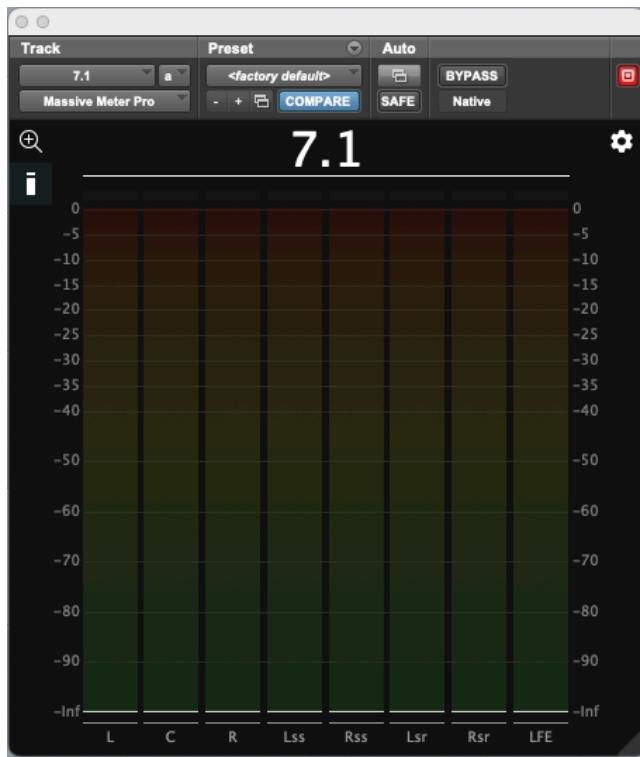
フォールドダウンメーターに表示される信号は、最も大きな音量を持つ個々のチャンネルです。

Massive Meter プラグインと Massive Meter Pro プラグインは、Meter Bridge Pro アプリケーションでメーターのフォールドダウンの状態を表示し、コントロールすることができます。Massive Meter の虫眼鏡アイコンの下にあるダブルメーターアイコンは、そのメーターのフォールドダウンの状態を表示し、フォールドダウンの状態を変更するためのトグルスイッチとして機能します。

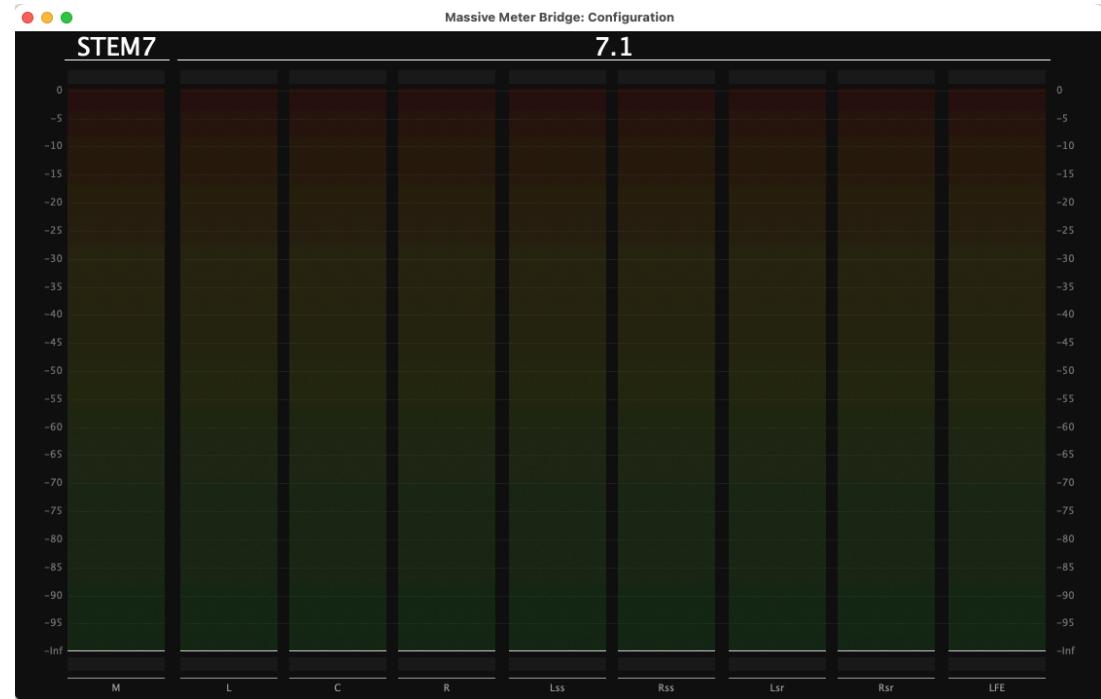
ダブルメーターアイコンをクリックすると、Meter Bridge Proアプリケーションでフォーカスされるメーターが変更されます。



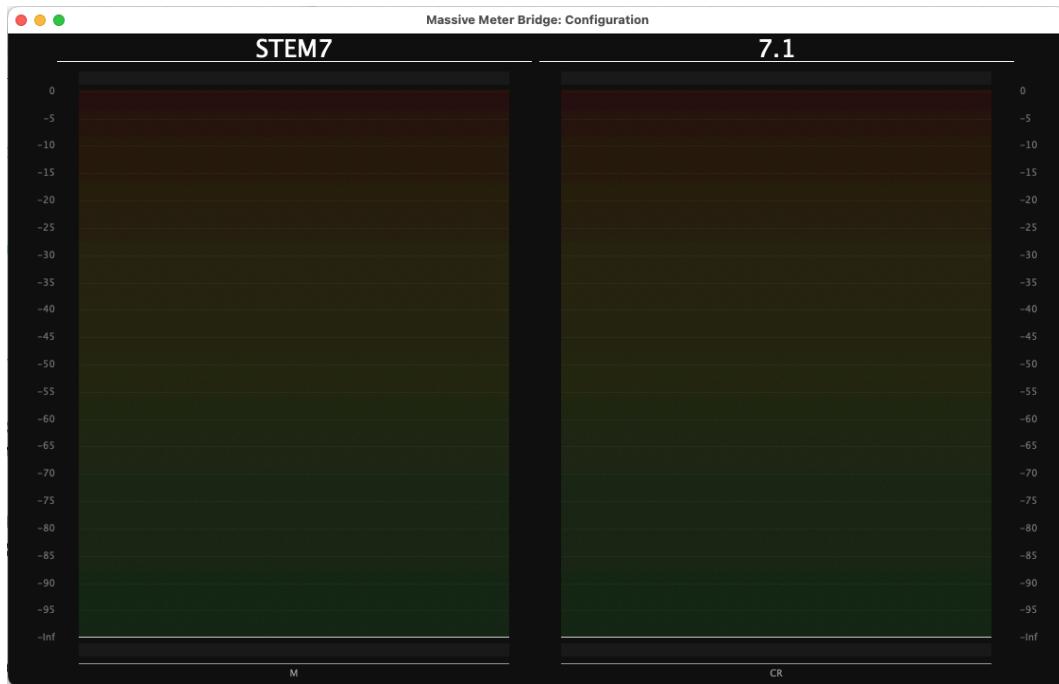
フォールドダウンメーターモードでないMassive Meterプラグイン表示



フォールドダウンメーターモードのMassive Meterプラグイン表示



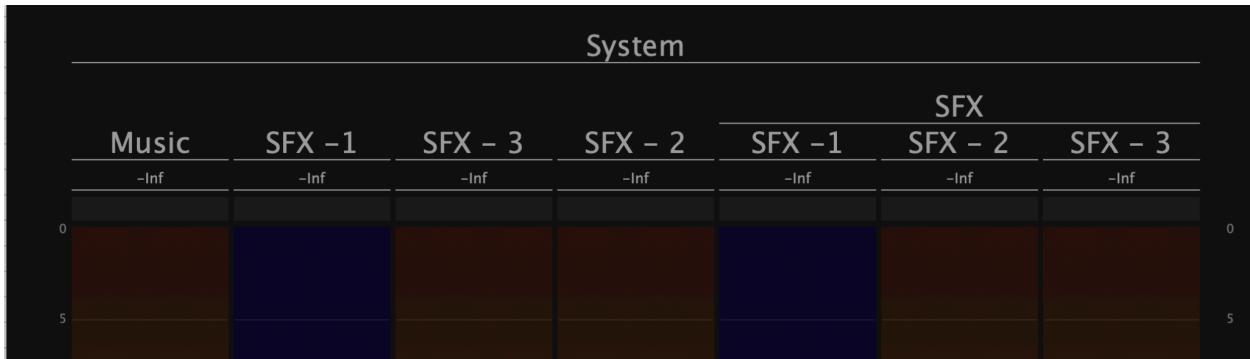
Meter Bridge Pro Showing a 7.1 Meter



Meter Bridge Proのフォールドダウンモード7.1 Meter表示

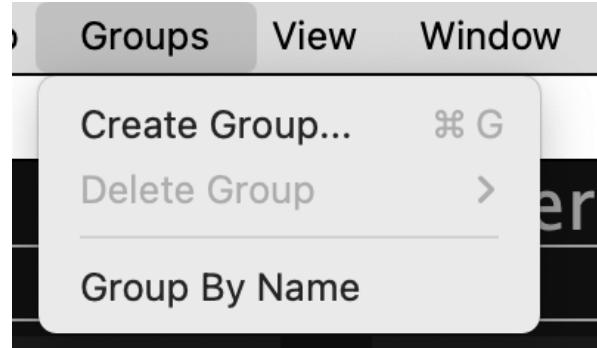
メーターグループ - アプリケーションのみ

Meter Bridge Proアプリケーションは、メーターをまとめてメーターグループにすることができます。

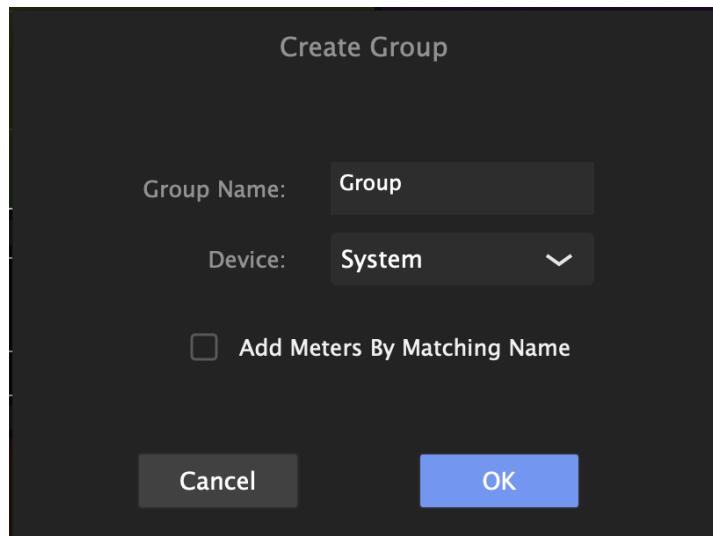


メーターグループSFX

メーター・グループは、command-gのキーボード・ショートカット、またはGroupsメニューのCreate Groupメニュー項目を使用して作成します。グループ名はグループ作成ダイアログでカスタマイズできます。メーター・グループはシステムに関連付けられ、システムと共に表示されます。



Groupsメニュー



Create Groupダイアログ

メーターの名前に基づいてメーターを素早くグループ化するには、「Add Meters By Matching Name」を選択します。これにより、グループと同じ接頭辞の名前を持つすべてのメーターが検索され、自動的にグループに追加されます。例えば、グループ名が「SFX」の場合、SFXで始まる名前を持つメーターは自動的にメーターグループに追加されます。

メーターグループが作成されると、どのタイプのメーターでもドラッグ & ドロップでグループに入れたり、グループから出したりすることができます。

メーターグループが作成された後、メニュー命令「Group By Name」を使用して、メーターは自動的にメーターグループに追加されます。

メーターグループは、[Groups(グループ)]メニューと[Delete Group(グループ削除)]サブメニューを使用して削除できます。既存のメーターグループはサブメニューに一覧表示されます。

メーターグループは、他のシステムやメーターと同様に、[表示]メニューを使用して表示または非表示にすることができます。

ユニバースビューでは、どのシステムからのメーターもどのメーターグループにも追加できます。標準ビューとユニバースビューを切り替えると、標準ビューではシステムに関連するメーターだけがメーターグループに表示されます。

メーター・リンク - アプリケーションのみ

メーターブリッジProアプリケーションは、メーター同士のリンクをサポートしています。メーターをリンクするには、メーターが同じタイプである必要があります。異なるシステム上にあるメーターは一緒にリンクすることができます。

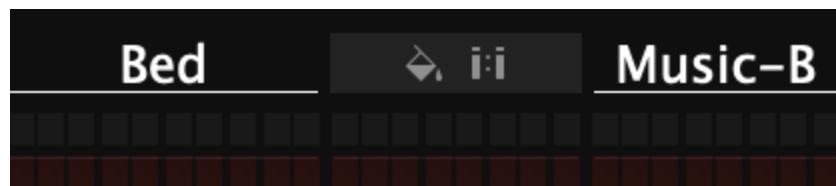
メーターが一緒にリンクされている場合、新しいメーターが元のメーターを組み合わせた名前で表示され、メーターインジケータは一緒に組み合わせ表示されます。メーターインジケーターは元のメーターと同じ色で表示されます。

メーターをリンクするには、Meter Name(メーターナンバー)ユーザーインターフェイス要素をクリックしてから、Link Meter(メーターリンク)アイコンをクリックします。リンク可能なメーターがポップアップで表示されます。

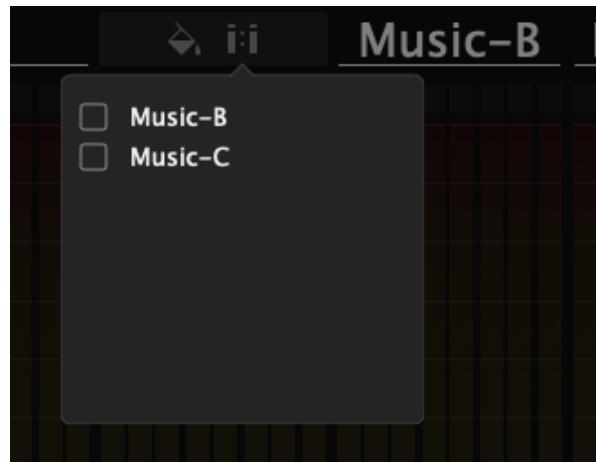
リンクされたメーターのリンクを解除するには、リンクされたメーターのメーターナンバーユーザーインターフェイス要素をクリックし、次にメーターのリンクアイコンをクリックします。リストで 1 つのメータだけが選択されている場合、リンクされたメータは表示から消えます。

複数のメーターをリンクさせることも可能です。まず 2 つのメーターをリンクさせ、次に新しくリンクさせたメーターにさらにメーターをリンクさせます。

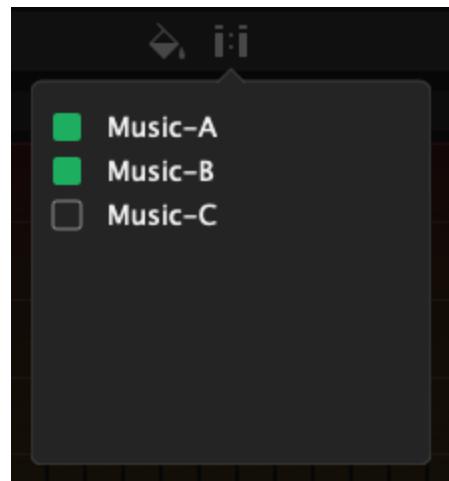
このモードは、PED/Directなどのワークフローでメーターを比較するのに便利です。



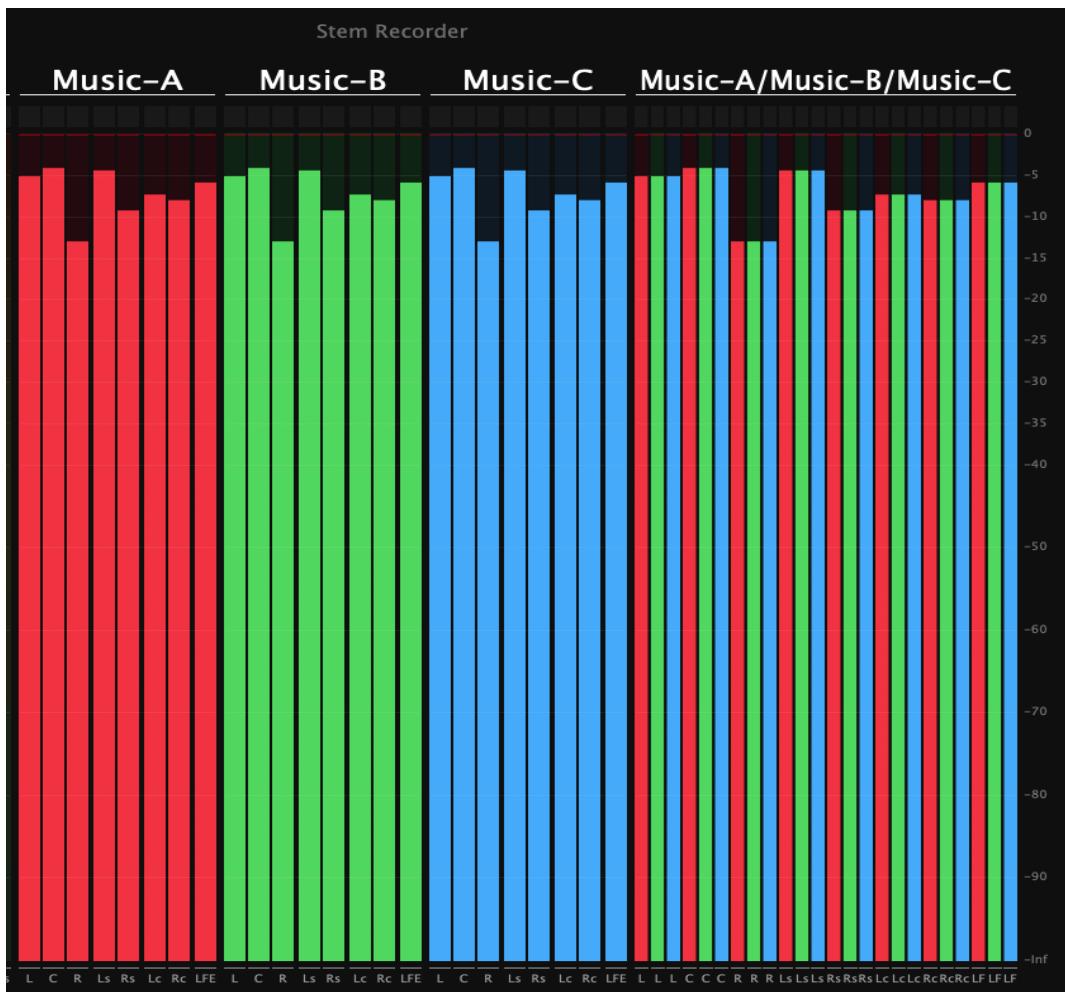
Linkアイコン



同じタイプのトラックを表示するリンクメニュー



選択したメーターを表示するリンクメニュー



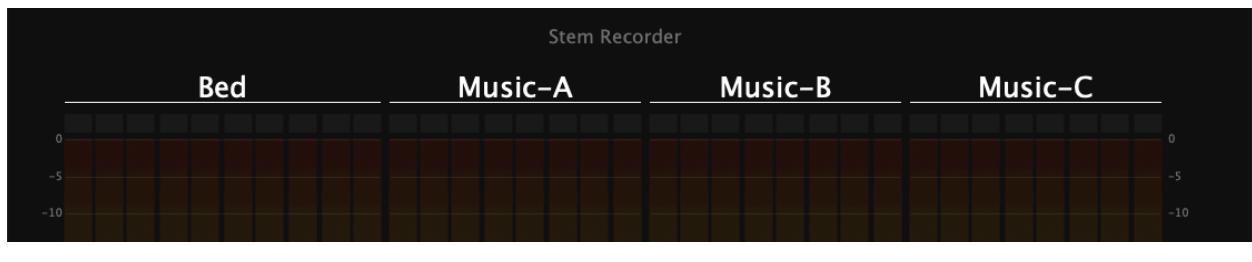
リンクされたメーター表示

システム、メーター、メーターグループの両方の表示と非表示 - アプリケーション

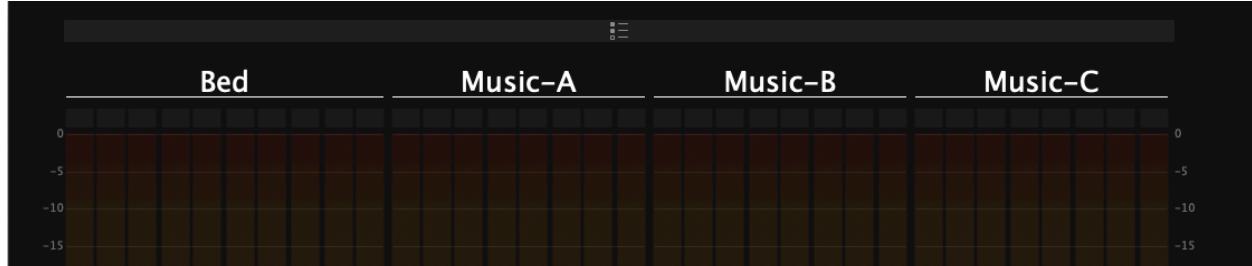
Meter Bridge Proアプリケーションは、システム、個々のメーター、メーターグループの表示と非表示の両方を可能にします。

システム名のユーザーインターフェイスをクリックすると、メーターの表示/非表示アイコンが表示されます。アイコンをクリックすると、表示または非表示にできるシステム内のすべてのメーターのリストが表示されます。

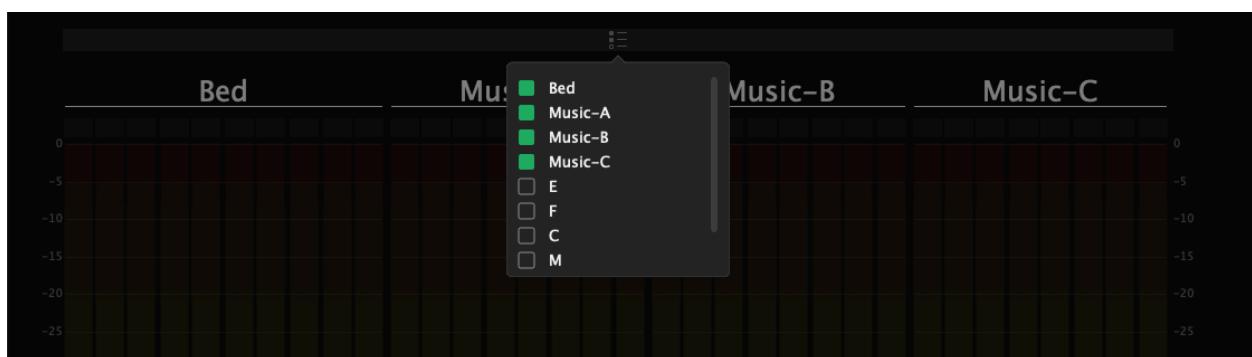
特定のシステム、メーター、メーターグループを表示または非表示にするには、アプリケーションの[表示]メニューにシステム、メーター、メーターグループの表示と非表示のオプションがあります。



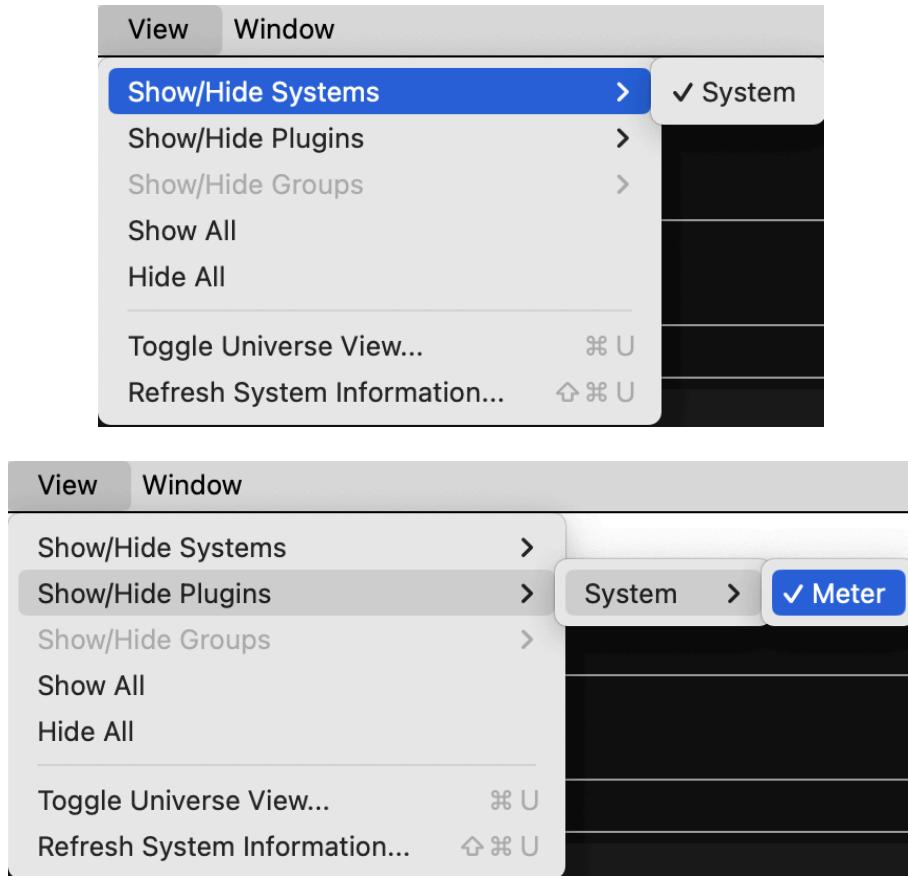
システム名



メーター表示非表示アイコン



メーター表示非表示ポップアップメニュー



アプリケーション表示メニュー

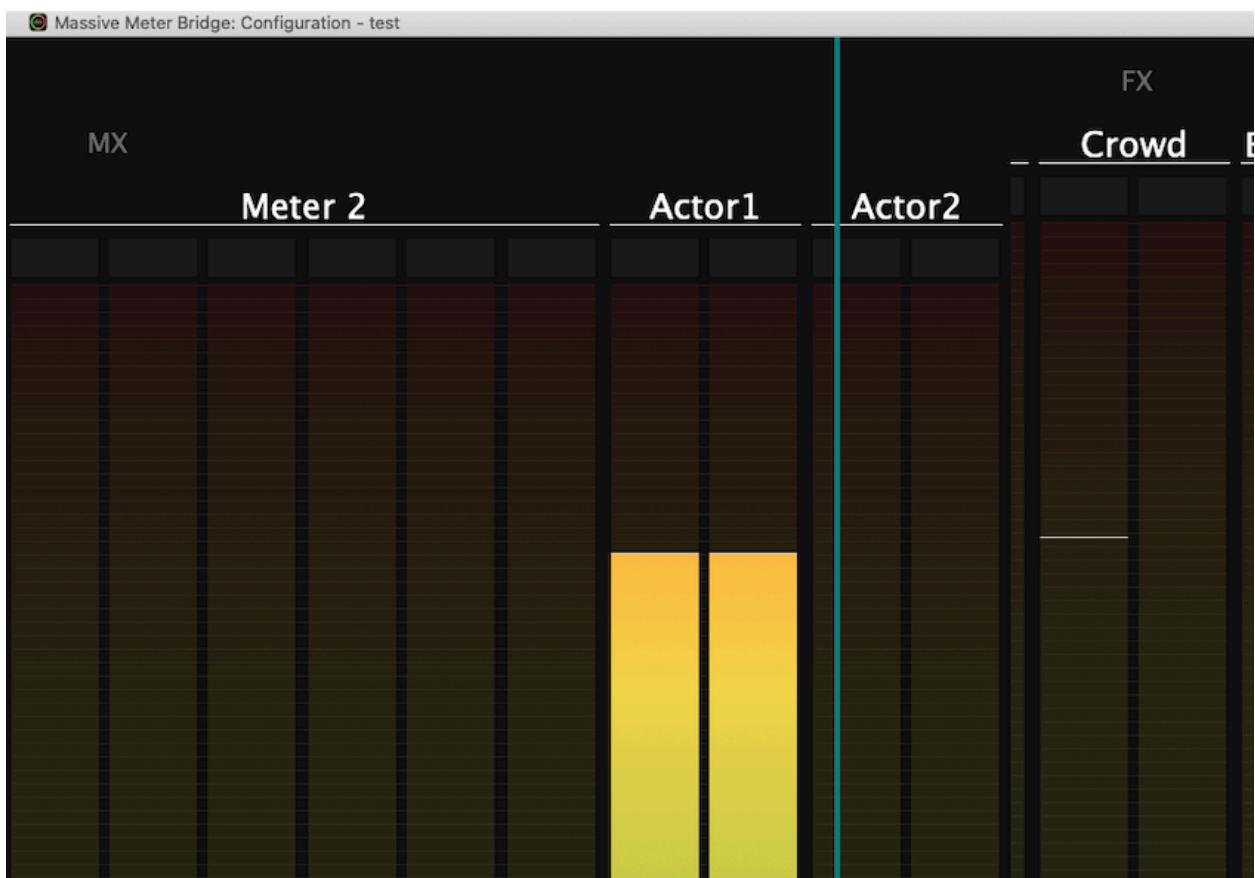
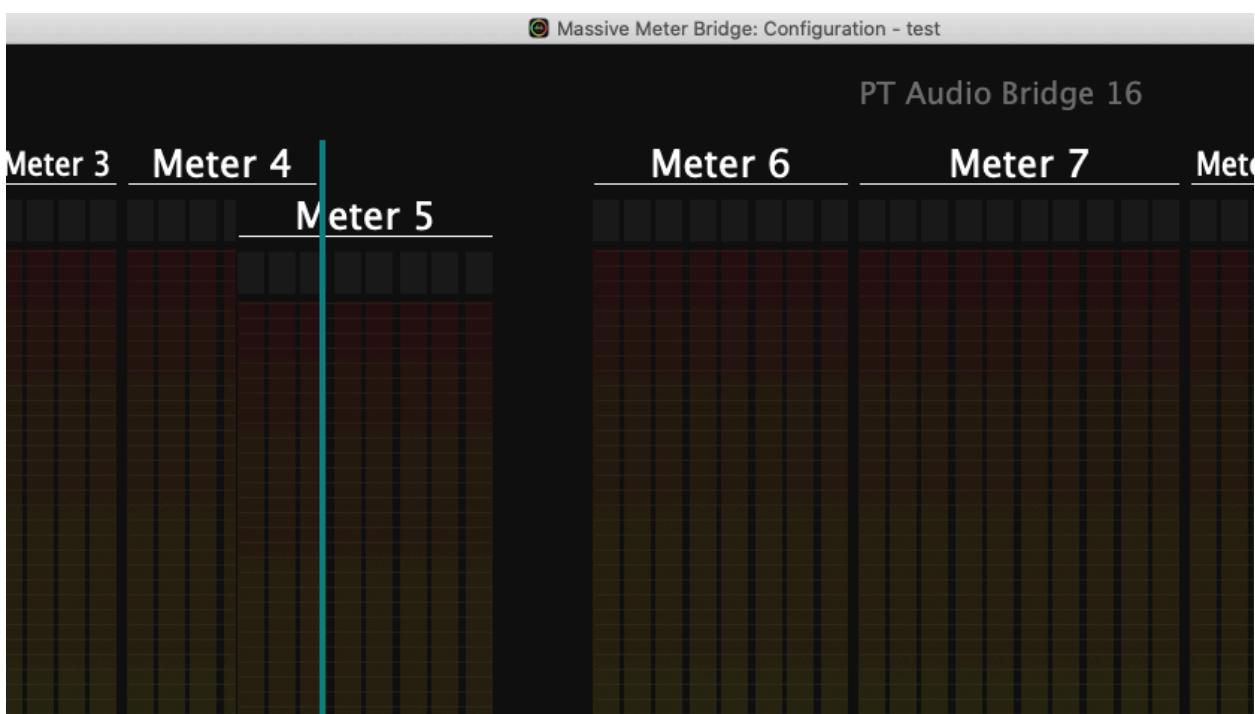
メーターとシステムの整理 - アプリケーションのみ

Meter Bridge Pro アプリケーションでは、接続されたシステムとメーターを整理して配置することができます。システムとメーターは、システムまたはメーターのラベルをクリックしてドラッグすることで移動できます。

システムまたはメーターをドラッグすると、垂直の青い線が表示され、システムまたはメーターをドロップしたときにメーターの位置が示されます。

ユニバース・ビューでは、メーターはどのような順番でも並べることができます。

標準ビューでは、メーターの配置はメーターが属するシステムに制約されます。

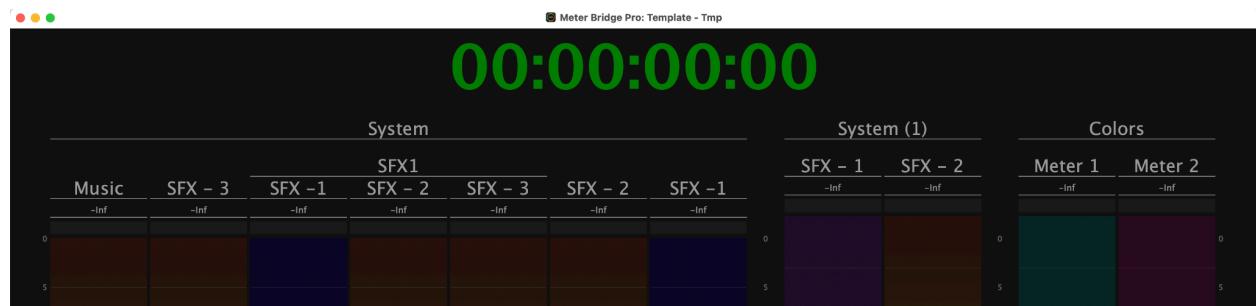


タイムコードディスプレイ - Meter Bridge Proのみ

Meter Bridge Pro デスクトップ・アプリケーションには、選択した MIDI タイムコード入力(MTC 入力)からのタイムコードを表示するタイムコード・ディスプレイがあります。タイムコード・ディスプレイは、独立したフローティング・ウィンドウでも、Meter Bridge Proのメイン・ウィンドウでも表示することができます。



タイムコードウインドウ



メインウィンドウ上のタイムコードディスプレイ

MTC入力ソース設定

アプリケーション環境設定のタイムコードタブには、入力される MTC ソースの設定が含まれています。MTC Inputメニューを使用して、MTC入力ソースを選択します。MTCソースは、Pro Toolsや他のDAW、macOS Audio MIDI Setupアプリケーションで設定できます。MTC生成の設定方法の詳細については、お使いのDAWのマニュアルを参照してください。

タイムコードディスプレイのカスタマイズ

アプリケーションの環境設定には、タイムコード・ウィンドウの表示と動作をカスタマイズするための複数の設定があります。その中には、フォント、表示位置、タイムコード・ウィンドウを他のアプリケーション・ウィンドウの上に常にフロートさせる機能などが含まれます。

Last Frame Of Action

Meter Bridge Proアプリケーションは、リールのアクションの最後のフレームを示すタイムコード値と、それに同期する対応するタイムコード値のペアを含むアクションの最後のフレームファイルをロードする機能を備えています。

Last Frame Of Actionタイムコードオフセットシステムにより、複数のリールをリニアまたはカスタムのタイムコード値で連続して再生することができます。

Frame Rate

Frame Rate設定は、Last Frame Of Actionファイルのフレームレートを設定するために使用します。Last Frame Of Actionファイルのタイムコード値は、この設定で指定されたフレームレートと一致する必要があります。

このフレームレートは、MTCソースの受信フレームレートとも一致する必要があります。

Load File

Load File ボタンは、Last Frame Of Action ファイルをロードします。このファイルはシステム上の任意の場所に置くことができます。このファイルの場所は、アプリケーションを起動した後も保持されます。

Clear File

Clear Fileボタンは、Last Frame Of Action Fileの選択をクリアします。

Last Frame Of Action File Format

アクションファイルの最後のフレームは、スペースまたはタブで区切られたタイムコード値のペアを持つテキストファイルです。1行に1組のタイムコード値があります。

Example

01:00:10:00 02:00:00:00

02:00:10:00 03:00:10:00

ショートカット

Meter Bridge Pro デスクトップ・アプリケーション、Meter Bridge iOS アプリケーション、Massive Meter プラグイン、Massive Meter Pro プラグインには、設定をすばやく変更したり、コンフィギュレーションやテンプレートを操作したりするためのキーボードやマウスのショートカットが用意されています。

マウスショートカット

Meter Bridge Pro デスクトップ・アプリケーション、Massive Meter プラグイン、Massive Meter Pro プラグインには、クリック・ナビゲーションのための以下のマウス・ショートカットがあります。

メータースケールの変更

メーターのスケールを変更するには、メーターのスケールインジケーターをクリックしてドラッグし、クリックした値に基づいてスケールを変更します。例えば、-40dB をクリックし、値をメーターの一番下までドラッグすると、メーターの範囲が -40dB から 0dB に変わります。

メータースケールをリセットするには、メータースケールインジケーターをダブルクリックします。

システムまたはメーターの順序

システムまたはメーターの順序を変更するには、メーター名のラベルをクリックしてドラッグします。ドロップすると、メーターが並び替えられる場所に青い線が表示されます。

個別メーターへのズームイン／アウト

特定のメーターを拡大するには、メーターインジケーターの1つをダブルクリックします。これにより、他のすべてのメーターが非表示になり、ダブルクリックしたメーターだけが表示されます。すべてのメーターを表示するには、メーターインジケーターをもう一度ダブルクリックします。

フォールドダウンメーター - Meter Bridge Pro デスクトップアプリケーション

フォールドダウンメーターモードにするは、メーターインジケーターの1つをオプションダブルクリックします。これにより、他のすべてのメーターが非表示になり、ダブルクリックしたメーターだけが表示されます。メーターインジケーターをもう一度ダブルクリックすると、すべてのメーターが表示されます。

キーボード・ショートカット - Meter Bridge Proデスクトップアプリケーション

Meter Bridge Pro デスクトップ・アプリケーションには、クリック・ナビゲーションのための以下のキーボード・ショートカットがあります。

Action	macOS
Configuration新規作成	Command-n
Template新規作成	Command-t
Configuration/Templateを開く	Command-o
最後のConfiguration/Templateを開く	Command-Shift-o
Configuration/Templateを保存	Command-s
Configuration/Templateを閉じる	Command-w
Configuration/Templateを別名保存	Command-Shift-s
System Window追加／削除を開く	Command-Shift-d
Template Window設定を開く	Command-Shift-m
Audio Device Settings Windowを開く	Command-Shift-a
Preferences Windowを開く	Command-Shift-p
Meter Group新規作成	Command-g
Universe Viewの切り替え	Command-u
System Informationを更新	Command-Shift-u

環境設定 (Preferences)

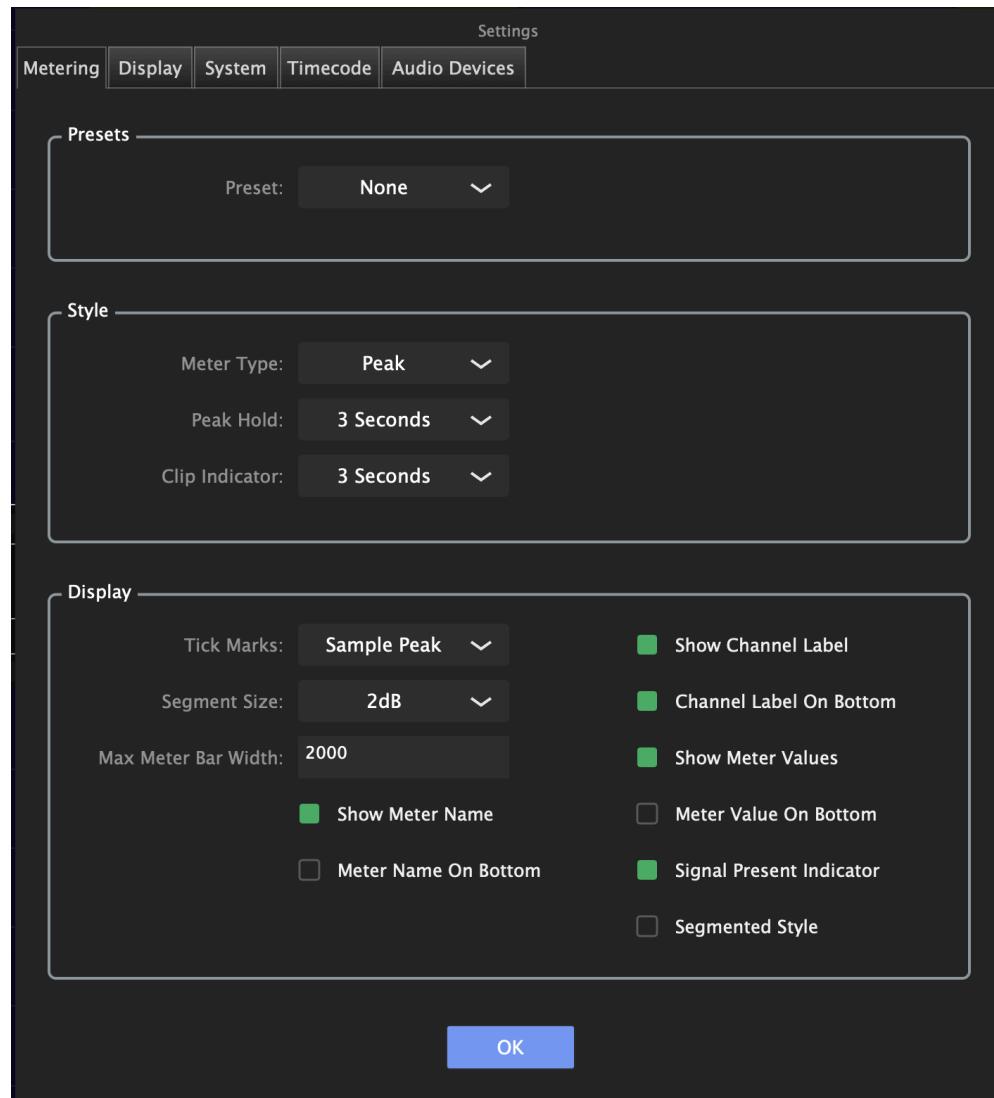
Meter Bridge Pro アプリケーションと Massive Meter プラグインには、ソフトウェアの外観や動作をカスタマイズするための環境設定があります。

Meter Bridge Pro プリファレンスにアクセスするには、Massive Meter アプリケーション名と Setup メニューの下にメニュー項目があります。キーボードショートカットは command-shift-P です。

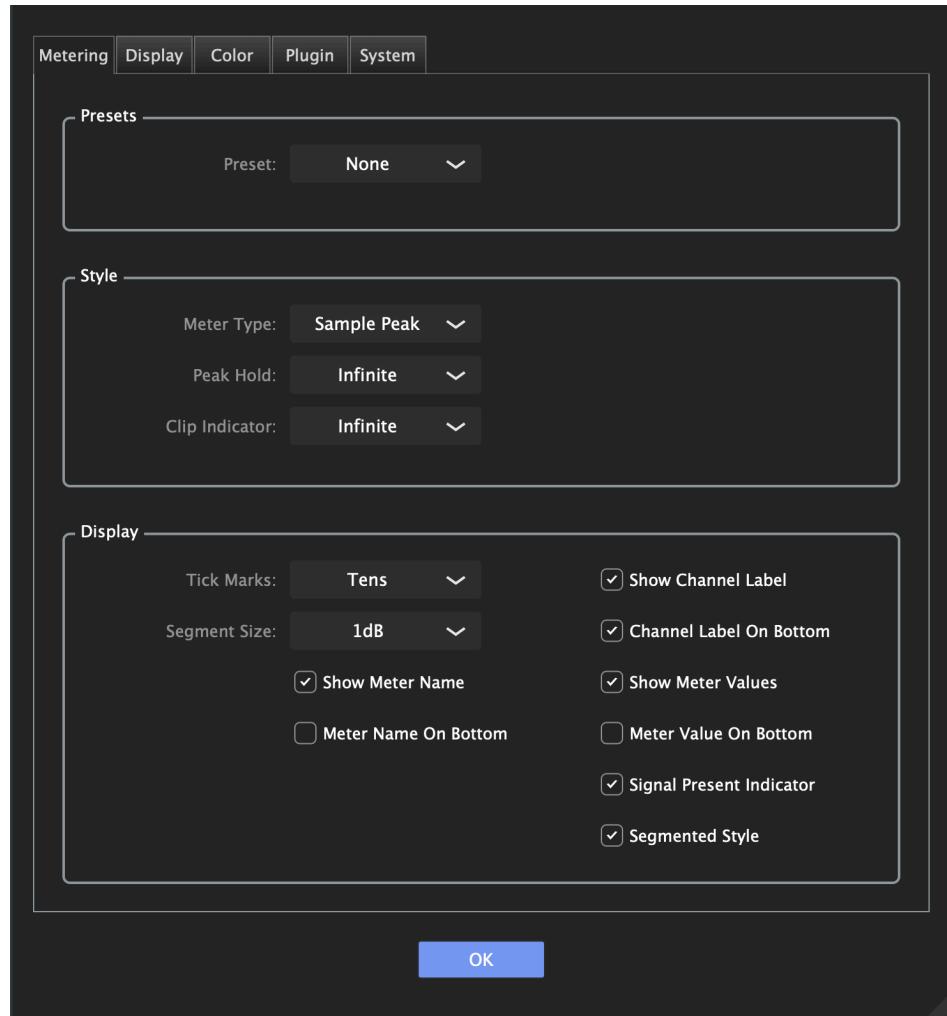
Massive Meter の環境設定にアクセスするには、プラグイン・ユーザー・インターフェイスの右上隅にある歯車のアイコンをクリックします。

Metering - アプリケーションおよびプラグイン

環境設定の「Metering」セクションには、メータリングに関する使用可能な環境設定が用意されている。



Meter Bridge ProアプリケーションのMetering設定

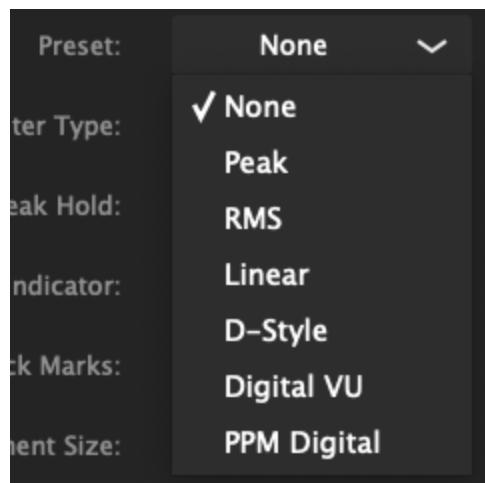


Massive MeterプラグインのMetering設定

Preset - アプリケーションおよびプラグイン

「Preset」設定は、環境設定やその他の設定のグループを共通の設定にするためのショートカットです。プリセットを選択すると、関連するプリファレンスと設定がそのプリセットに合わせて変更されます。

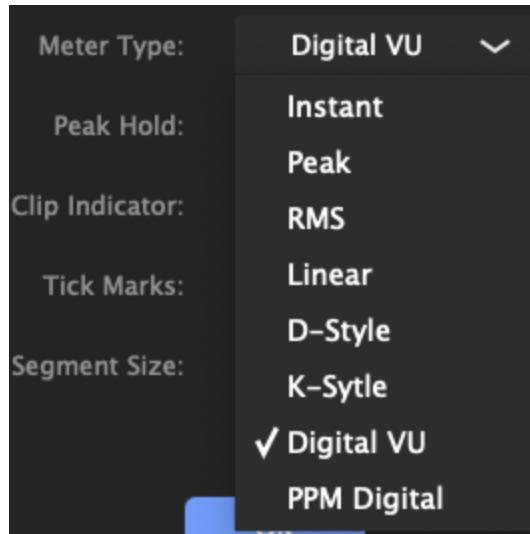
プリセットの選択は環境設定には保存されません。



プリセット例

Meter Type - アプリケーションおよびプラグイン

「Meter Type」(メータータイプ)設定は、メーターインジケーターのメータータイプを選択します。選択肢は、Instant、Peak、RMS、Linear、Dorrough、K-12、K-14、K-20、VU、Digital VU、PPM Digitalです。

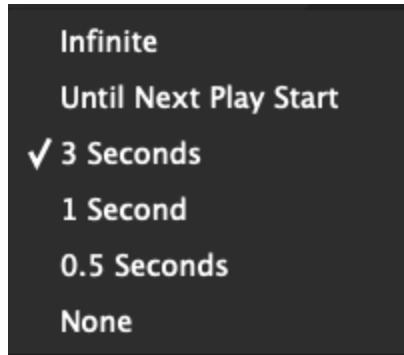


Meter Typeの種類

Peak Hold - アプリケーションおよびプラグイン

「Peak Hold」(ピーク・ホールド)の設定は、ピーク・インジケータがピーク・レベルにとどまる時間を決定します。

「Until Next Play Start」は、Pro Toolsの次の再生開始までインジケーターを保持します。これにより、急ぐことなくピークインジケーターをさらに確認することができます。

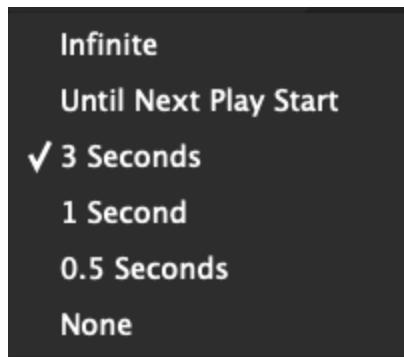


Peak Hold時間

Clip Indicator - アプリケーションおよびプラグイン

「Clip Indicator」(クリップインジケータ)の設定は、メーターがクリップしたことを示すクリップインジケータの表示時間を決定します。

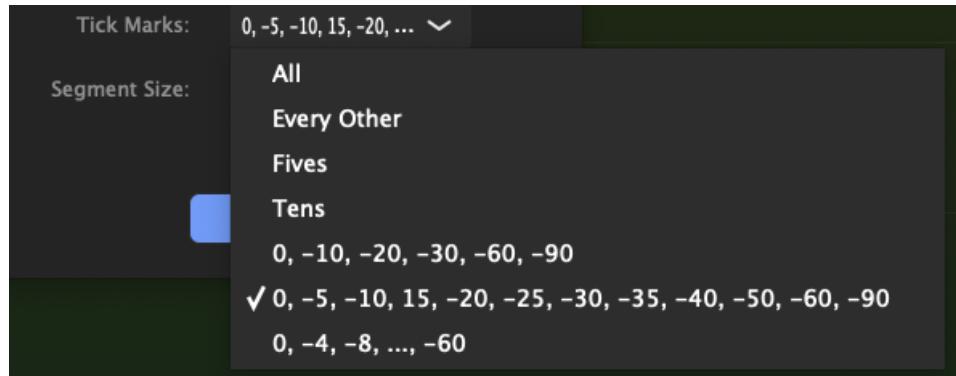
Until Next Play Startは、Pro Toolsの次の再生開始までインジケーターをクリップ保持します。これにより、急ぐことなくピークインジケーターをさらに確認することができます。



Clip Hold時間

Tick Marks - アプリケーションおよびプラグイン

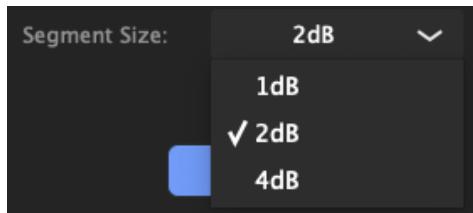
「Tick Marks」(ティックマーク)設定には、メーターインジケーターの隣に表示されるティックマークインジケーターの種類があります。



Tick Markの種類

Segment Size - アプリケーションおよびプラグイン

「Segment Size」(セグメントサイズ)設定には、「Segmented Style」(セグメントスタイル)時にメーターインジケーターセグメントまたはLEDを変更するオプションがあります。セグメント・スタイルが無効の場合、この環境設定は影響しません。



Segment Size

Max Meter Bar Width - アプリケーション

「Max Meter Bar Width」設定は、メーターバーの幅のピクセル数の最大制限を提供します。デフォルトは200ピクセルです。

この機能は、複数の行を使用する場合に、メーターをよりよく整理するために使用することができます。

Show Meter Name - アプリケーションおよびプラグイン

「Show Meter Name」設定は、プラグインとメーター・ブリッジにメーターナームを表示します。

Meter Name On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン

「Meter Name On Bottom」設定は、メーターナームの位置をメーターの上部または下部のいずれかに設定します。

Show Channel Label - アプリケーションおよびプラグイン

「Show Channel Label」設定は、プラグインとメーターブリッジにメーターチャンネルラベルを表示します。

Channel Label On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン

「Channel Label On Bottom」設定は、ユーザーインターフェイスの上部にメタ名を表示しながら、メタチャンネルラベルをユーザーインターフェイスの下部に移動します。

Show Meter Values - アプリケーションおよびプラグイン

「Show Meter Values」設定は、プラグインとメーターブリッジの各チャンネルのメーター値を表示します。

Meter Values On Bottom - アプリケーションおよびプラグイン

「Meter Values On Bottom」設定は、メタ名をユーザーインターフェイスの上部に表示しながら、メタ値インジケータをユーザーインターフェイスの下部に移動します。

Signal Present Indicator - アプリケーションおよびプラグイン

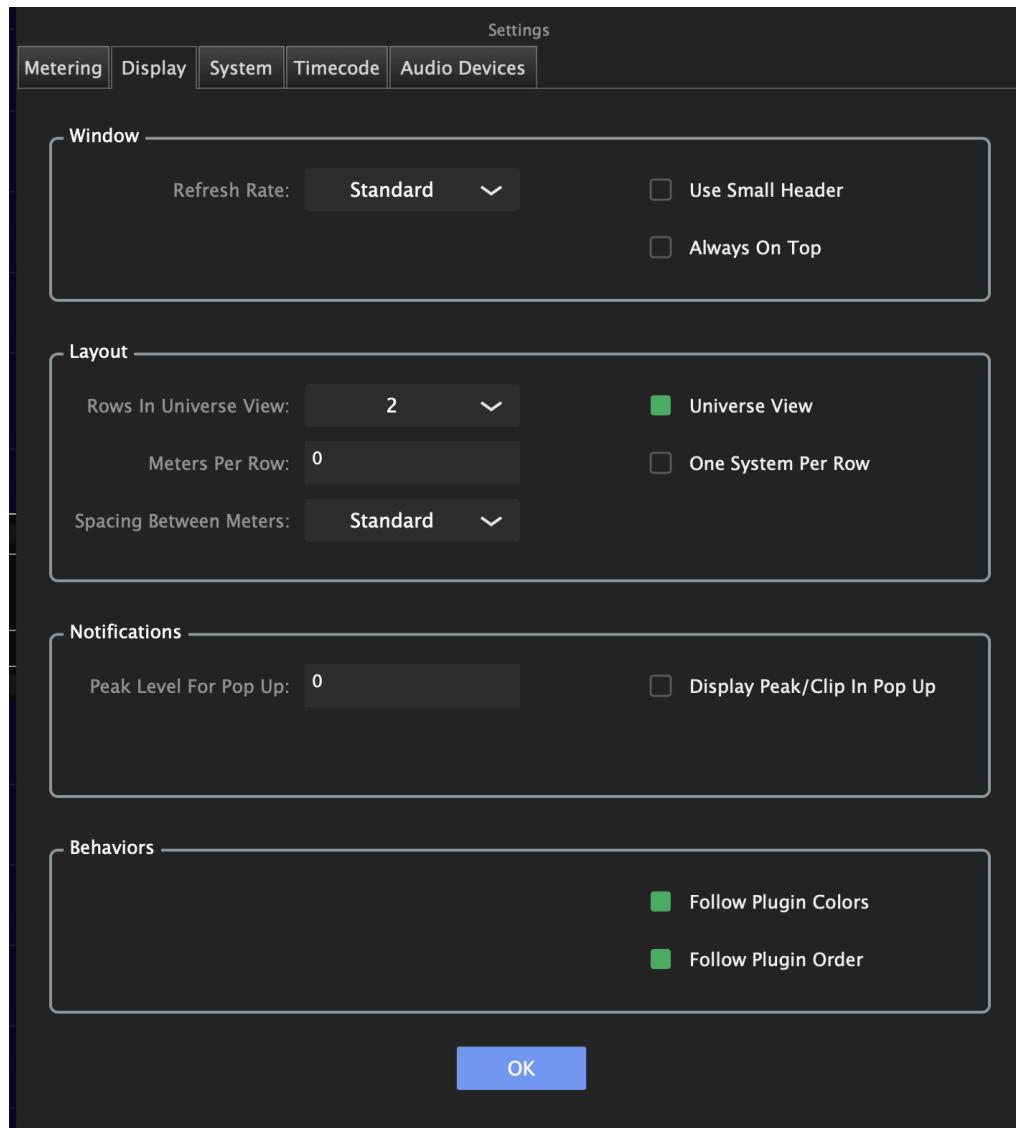
「Signal Present Indicator」設定は、メーターバーの下部に信号が生きていることを表示するインジケータを表示します。これは、メーターの最低値が負の無限大ではない場合のスケーリングするときに無音でないことがわかるようになります。

Segmented Style - アプリケーションおよびプラグイン

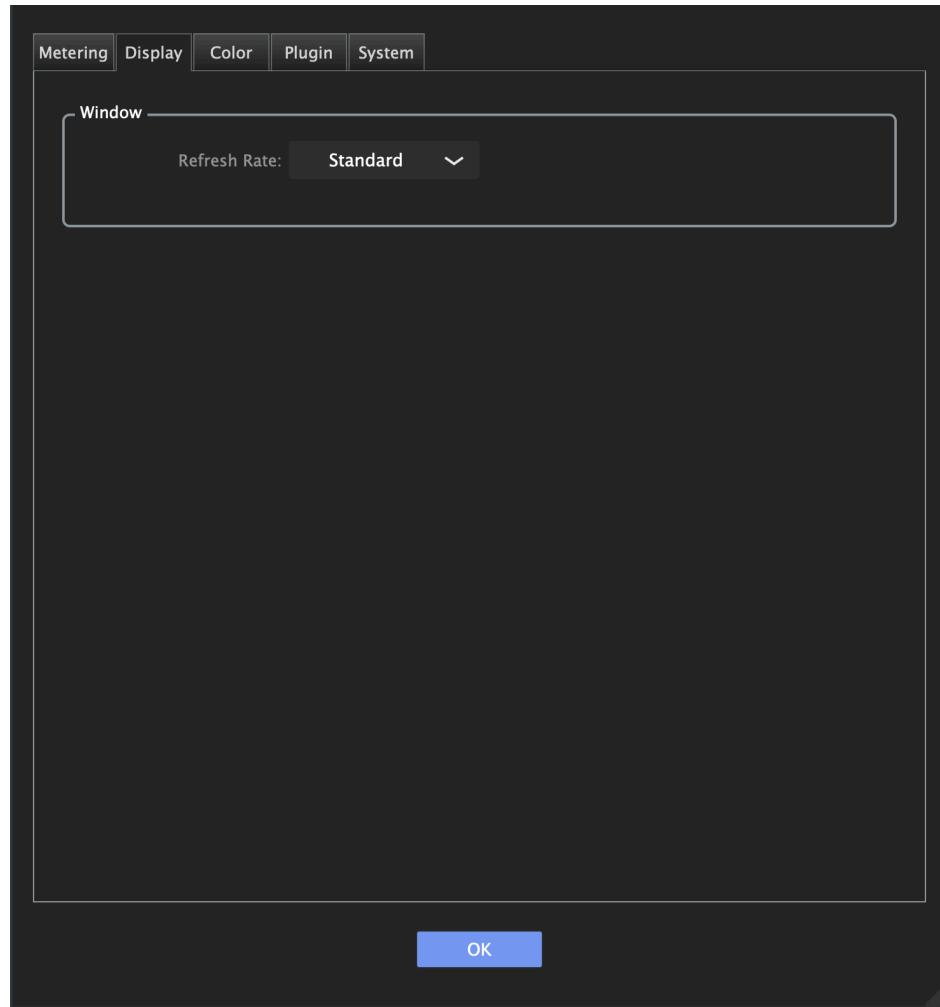
「Segmented Style」設定は、メーターディスプレイをソリッドカラーからLEDスタイルのセグメントディスプレイに変更します。

Display - アプリケーションおよびプラグイン

「ディスプレイ」設定は、メーターの表示とそのレイアウトに関する様々な設定をコントロールします。



Meter Bridge ProアプリケーションのDisplay設定

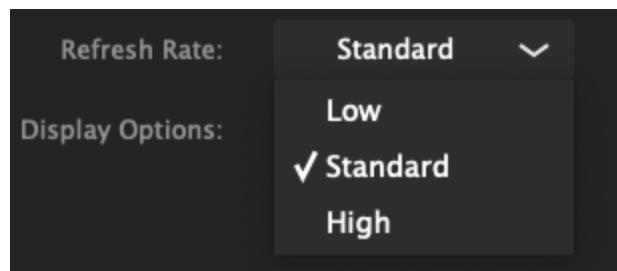


Massive MeterプラグインのDisplay設定

Refresh Rate - アプリケーションおよびプラグイン

「Refresh Rate」オプションは、メーターのリフレッシュレートを設定します。low (15 FPS)、Standard (30 FPS)、high (60 FPS) があります。

リフレッシュレートが高いほど、メーターは滑らかに表示されます。リフレッシュレートが高いほど、より多くのCPUを使用します。



Refresh Rate

Use Small Header - アプリケーションのみ

「Use Small Header」設定は、Meter Bridge Proのメインウィンドウヘッダーを、標準のmacOSシステムヘッダーではなく、カスタムの小さいヘッダーにします。これは、アプリケーションのユーザーインターフェースのサイズを最小化するのに役立ちます。

Always On Top - アプリケーションのみ

「Always On Top」設定は、メインの Meter Bridge Pro アプリケーションを、Pro Tools Mix や Edit ウィンドウなど、他のウィンドウの上に表示することを可能にします。

Rows In Universe View - アプリケーションのみ

「Rows In Universe View」設定は、ユニバースビューの時にMeter Bridge Proアプリケーションを1行から5行に渡って表示します。これは、画面スペースを最大限に活用し、より効率的にメーターを表示するのに便利です。

「Meters Per Row」設定が0以外に設定されている場合、この値がRows In Universe Viewの代わりに使用されます。

Meters Per Row - アプリケーションのみ

「Meters Per Row」設定は、Meter Bridge Pro アプリケーションがユニバースビューで行ごとに特定の数のメーターを表示するようにします。値が 0 のままだと、Rows In Universe View が使用され、各行のメーターが自動的にレイアウトされます。

行に入りきらないメーターがある場合、残りのメーターは最後の行に追加されます。この機能により、行ごとに表示されるメーターの数をよりよくコントロールすることができます。これは、256のような多くのメーターを持つCoreAudioデバイスを使用する場合に非常に便利です。行ごとに64メーターを表示するように設定できます。

Spacing Between Meters - アプリケーションのみ

「Spacing Between Meters」設定は、Meter Bridge Proのメーター間のスペースの量を変更します。Narrow、Standard、Wideの種類があります。

この設定は、メーターとメーターの間にスペースを作り、メーターの視覚的な分離を良くして、メーターを素早く見分けるために使用することができます。

Universe View - アプリケーションのみ

「Universe View」設定は、System nameユーザーインターフェイス要素を非表示にします。これは、アプリケーションのユーザーインターフェースのサイズを最小化するのに役立ちます。

環境設定を有効にするには、設定またはテンプレート設定をいったん閉じて、再度開く必要があることに注意してください。

One System Per Row - アプリケーションのみ

「One System Per Row」設定は、Meter Bridge Proアプリケーションに個々の行にシステムを表示させます。これはStandardビューに適用されます。

Display Peak/Clip In Pop Up - アプリケーションのみ

「Display Peak/Clip In Pop Up」設定により、Meter Bridge Proアプリケーションは、クリップまたはピークしきい値を通過したメーターのメーターナームを表示するポップアップ情報を表示することができます。

この機能は、ピークまたはクリップが発生したときに、より目立つユーザーインターフェイス情報を知らせます。ポップアップは、Peak Level For Pop Up、Peak Hold、Clip Indicatorの設定に基づいて表示されます。

ポップアップ表示をクリックすると、表示がクリアされます。

Peak Level For Pop Up - アプリケーションのみ

「Peak Level For Pop Up」設定は、Display Peak/Clip In Pop Upユーザーインターフェイス要素が黄色で表示されるときのしきい値をdBで設定します。

この設定は、ポップアップウィンドウにピーク/クリップ・レベルが表示されるスレッショルド・レベルを-20dBや-5dBなどの値に設定することができます。

Follow Plugin Colors - アプリケーションのみ

Meter Bridge Proのアプリケーション・メーターは、Massive Meterプラグインの色の変化に追従します。

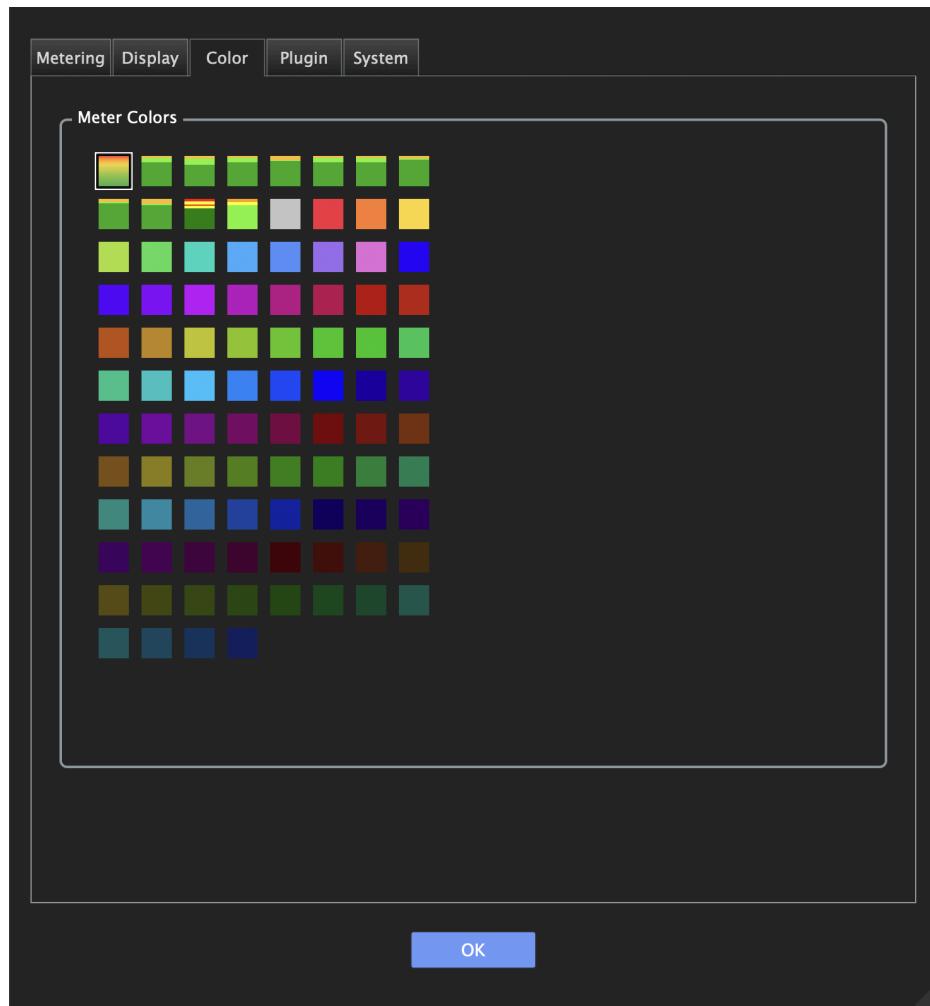
Follow Plugin Order - アプリケーションのみ

「Follow Plugin Order」設定は、Meter Bridge ProアプリケーションのメーターをPro Toolsのプラグインの順番(トラックの順番)に準じます。

この環境設定を有効にすると、Pro Tools でトラックを移動するときに、Meter Bridge Pro でメーターの順序が変わります。

Color - プラグインのみ

「Color」設定では、特定のメータープラグインのメーターの色を設定できます。



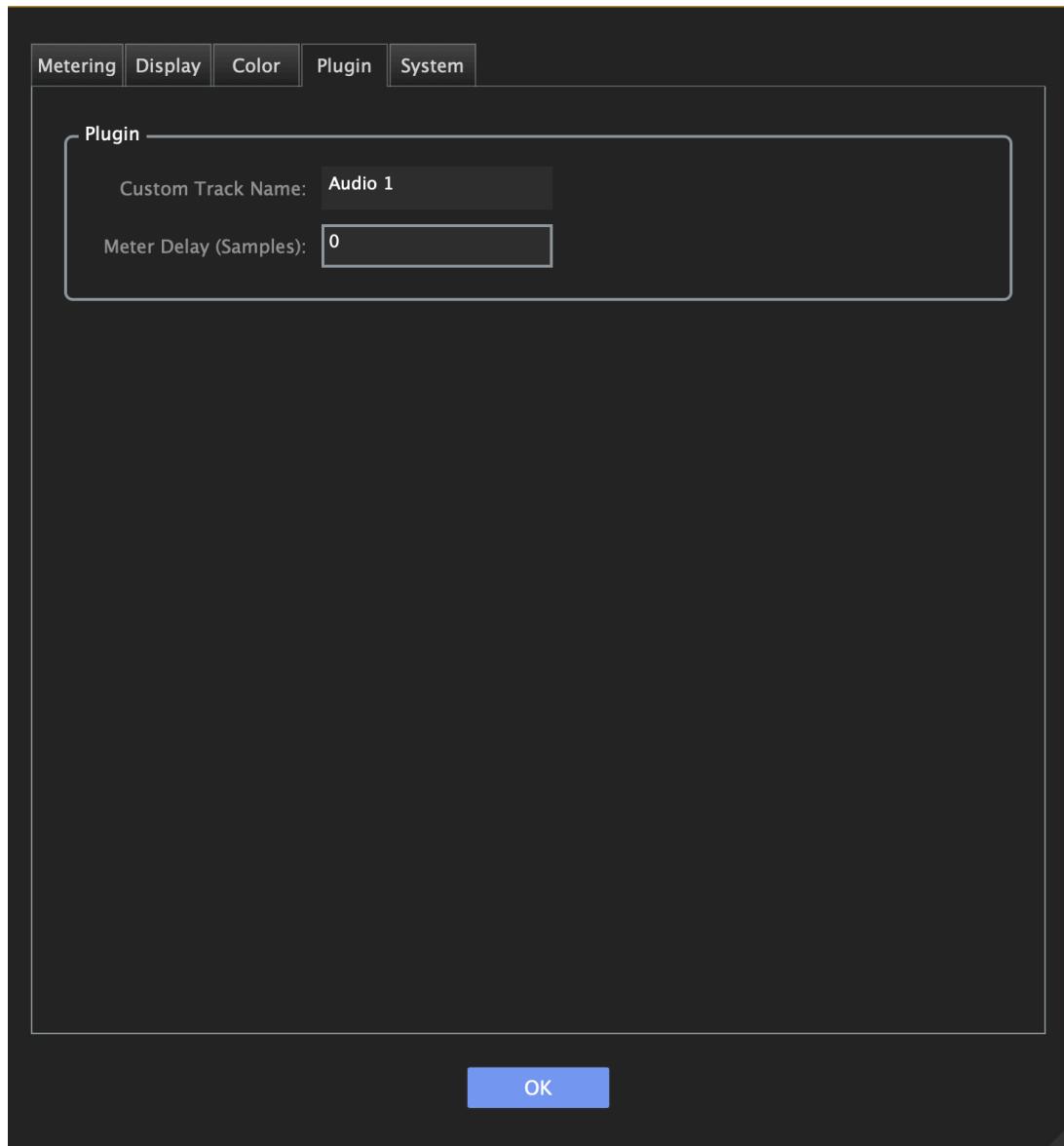
Massive MeterプラグインのColor設定

Meter Color

「Color」設定は、プラグインの色を表示し、変更することができます。

Plugin - プラグイン

「Plugin」設定には、プラグイン固有の情報に関する設定が含まれています。



Massive Meter Proプラグインの環境設定

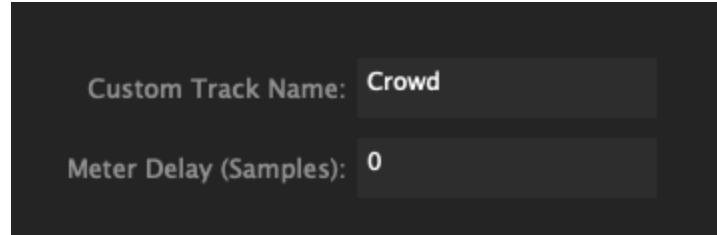
Custom Track Name - プラグイン

「Custom Track Name」設定では、プラグインが表示するメーターネームを、オリジナルのトラック名と異なるものにすることができます。

メーターネームのデフォルトは、プラグインがインサートされているトラックの名前です。

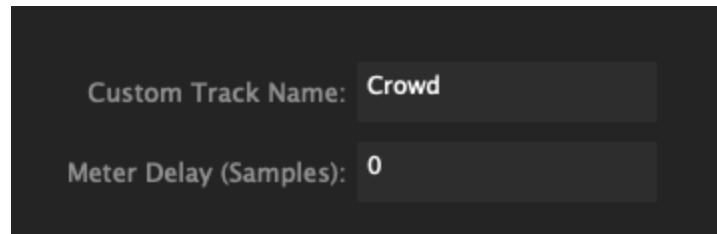
トラック/メーター表示名を変更するには、カスタム・トラック名フィールドのテキストを変更します。元のトラック名に戻すには、カスタムトラック名フィールドのテキストを削除します。設定を終了すると、元のトラック名が使用されます。

(補足)Custom Track Nameは、Meter Bridge Proが表示するためと、テンプレート・ファイルを使用する際にMeter Bridge Proでプラグインをメーターにマッピングするために使用されます。



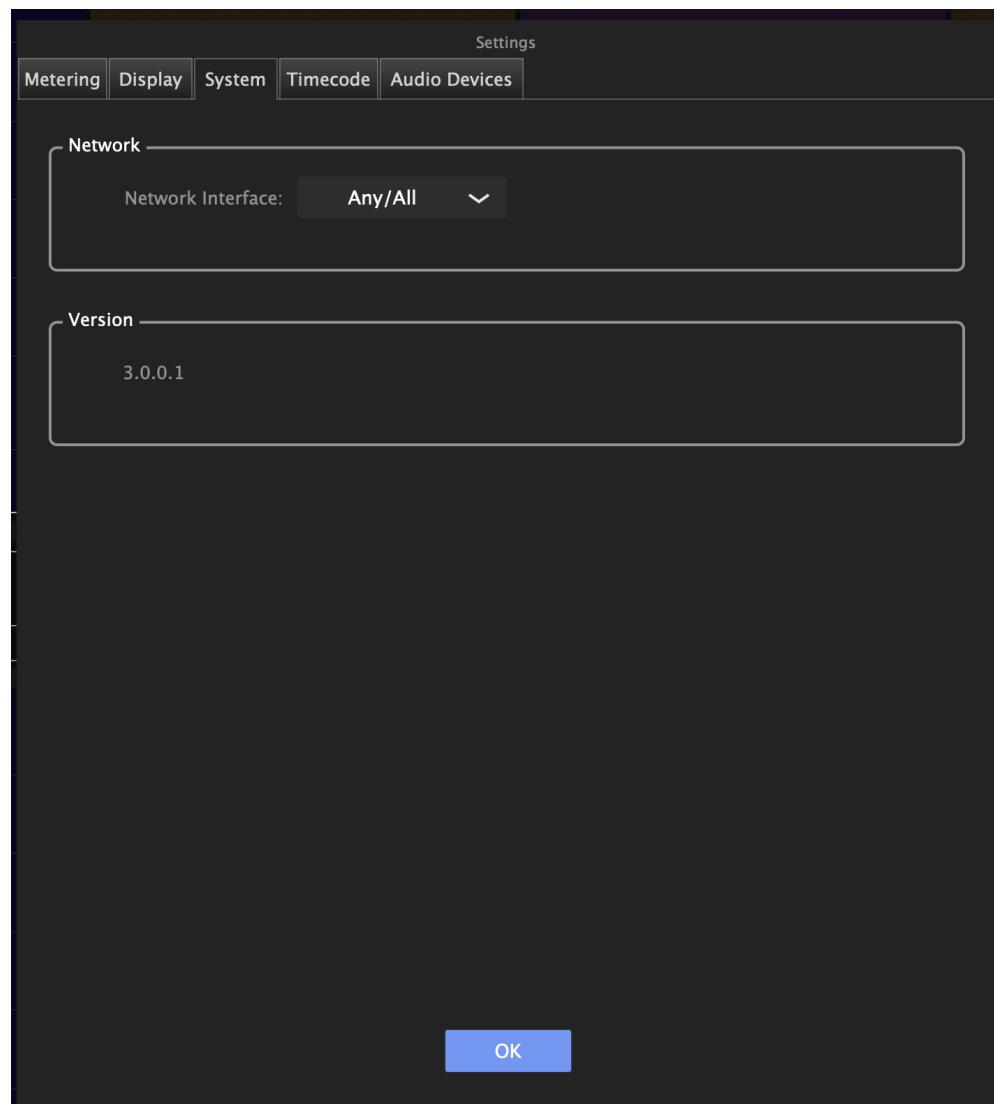
Meter Delay - Massive Meter Proプラグイン

「Meter Delay (Samples)」設定は、特定のメーターをサンプル数だけ遅らせることができます。この環境設定は、デジタルオーディオワークステーションに内蔵されたディレイ補正がディレイを完全に補正しない複雑なルーティングシナリオのために同期していないメーターを揃えるために使用できます。

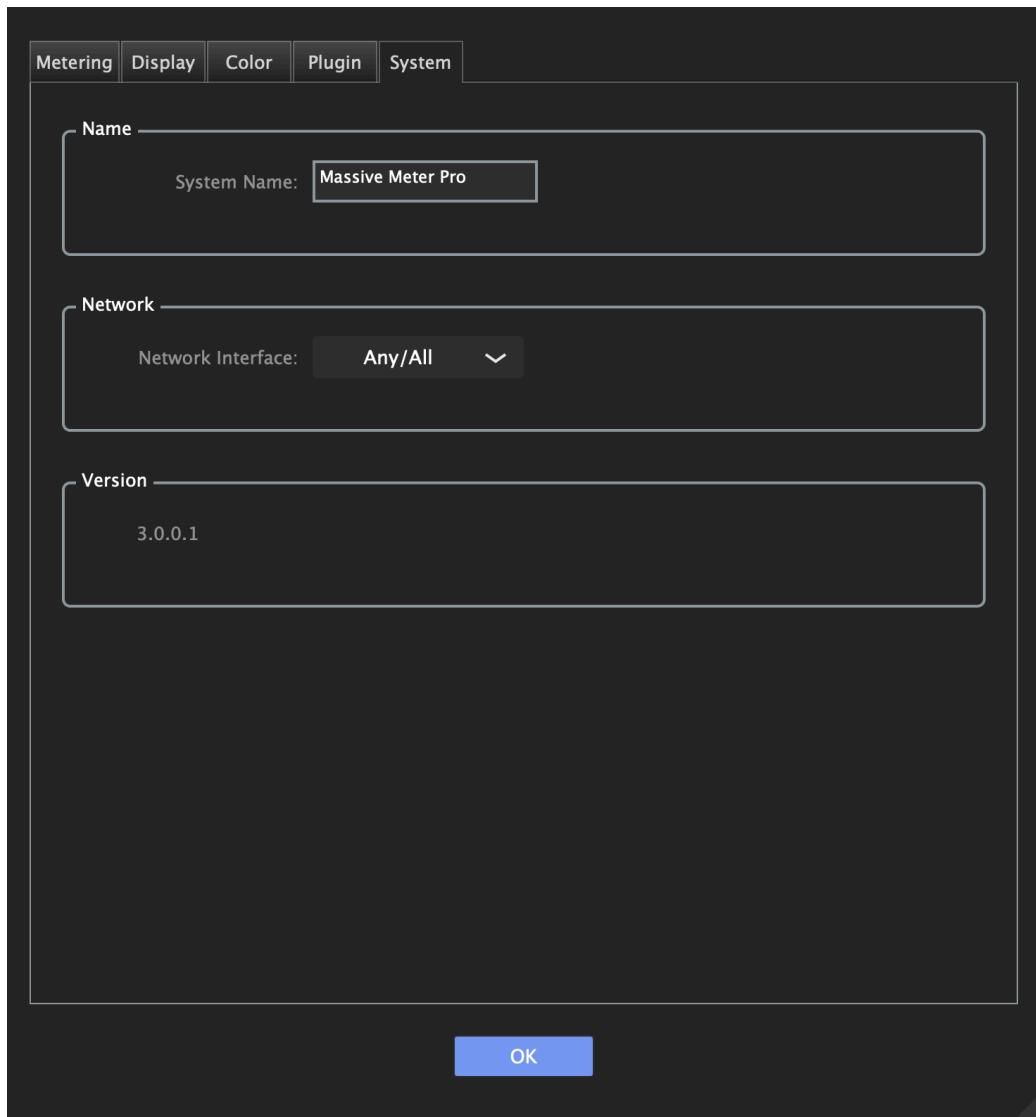


System - アプリケーションおよびプラグイン

「System Preference」設定には、システムに関連する環境設定が含まれています。



Meter Bridge ProのSystem設定



Massive MeterプラグインのSystem設定

System Name - プラグイン

「System Name」設定では、Massive Meterが動作しているシステムに名前を付けることができます。これは、Pro Toolsを実行しているさまざまなシステムに名前を付けるために使用できます。例えば、Music、Dialog、Effects、Recorderなどです。

「System Name」は、コンフィギュレーションのシステムを選択するとき、またはテンプレートを設定するときにMeter Bridge Proアプリケーションに表示されます。システム名はMeter Bridge Proアプリケーションのメインウィンドウにも表示されます。

(補足)「System Name」はシステム全体の設定であり、コンピュータ上でホストされているすべての Massive Meterプラグインに適用されることに注意してください。

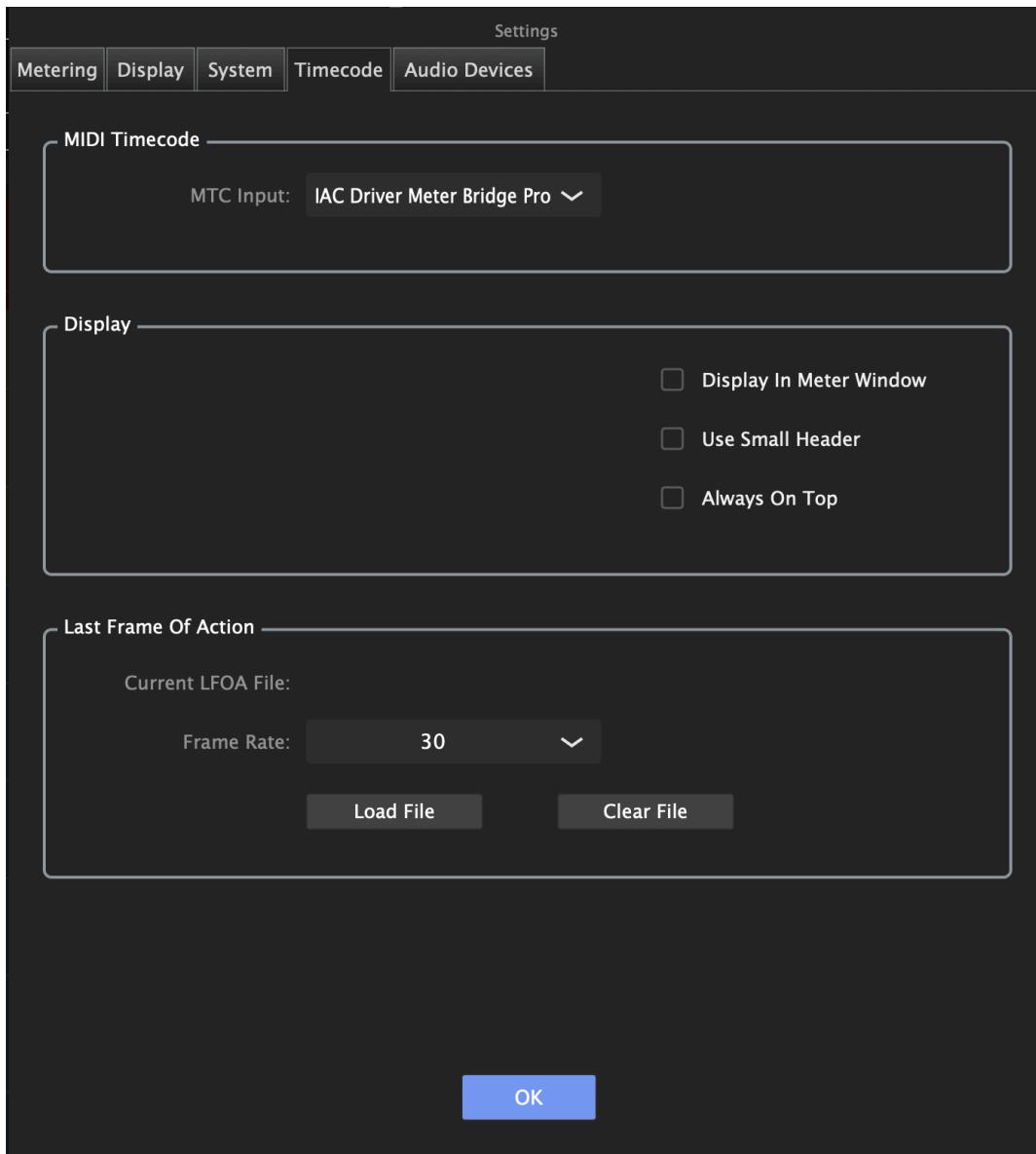
Network Interface

「Network Interface」設定は、プラグインとアプリケーション間の通信に使用するネットワークインターフェースを選択します。これはシステムレベルで保存されます。

Version

Versionセクションには、ソフトウェアのバージョン番号が表示されます。

Timecode - アプリケーションのみ



Meter Bridge ProアプリケーションのTimecode設定

MTC Input

「MTC Input」設定は、MTCを読み込むMIDI入力デバイスを選択するために使用します。この入力デバイスは、Pro Tools または他の MTC ジェネレーターのソース MTC デバイスと一致する必要があります。

Display In Meter Window

「Display In Meter Window」設定は、タイムコード読み出し表示をメインウィンドウの上部に表示するようにします。

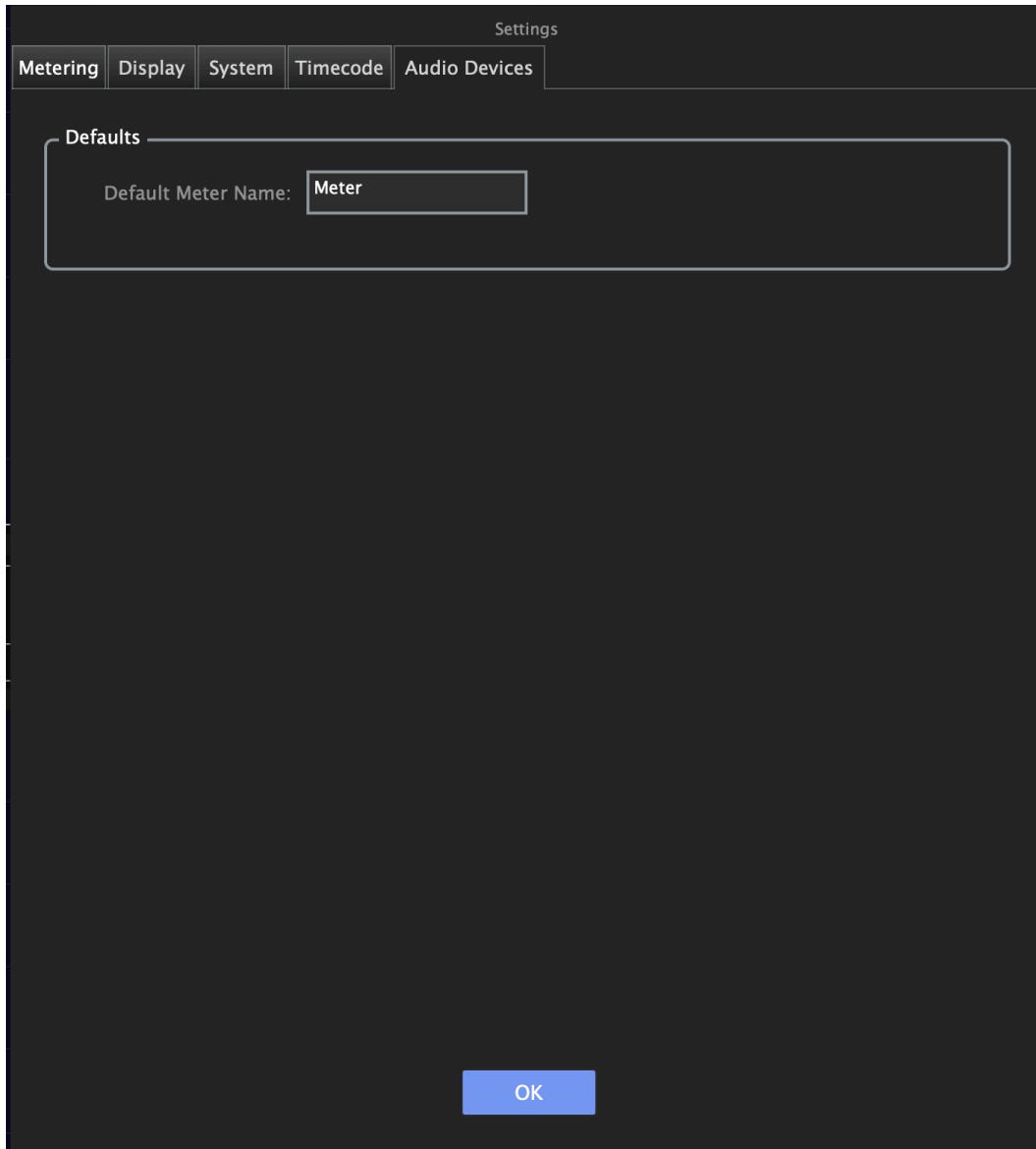
Use Small Header

「Use Small Header」設定は、Timecode ウィンドウのヘッダを標準のmacOSシステムヘッダではなく、カスタムの小さいヘッダにします。これはアプリケーションのユーザーインターフェースのサイズを最小化するのに役立ちます。

Always On Top

「Always On Top」設定は、Timecode ウィンドウを Pro Tools Mix や Edit ウィンドウなどの他のウィンドウの上に表示します。

Audio Devices - アプリケーションのみ



Meter Bridge Proの application Audio Devices設定

Default Meter Name

「Default Meter Name」設定は、Audio Device Setup ダイアログで作成するメーターのデフォルト名の接頭辞を設定します。この設定は、チャンネル数の多いCoreAudioデバイスを扱うときに便利です。例えば、64チャンネルのCoreAudioがある場合、Default Meter Nameを使用して、各メーターに自動的に「Onyx - 1」、「Onyx - 2」などの名前を付けることができます。

Meter Bridge iOSの制限事項

メーターブリッジiOSアプリケーションは、アップルのiPad上で実行できる無料のコンパニオンアプリケーションです。

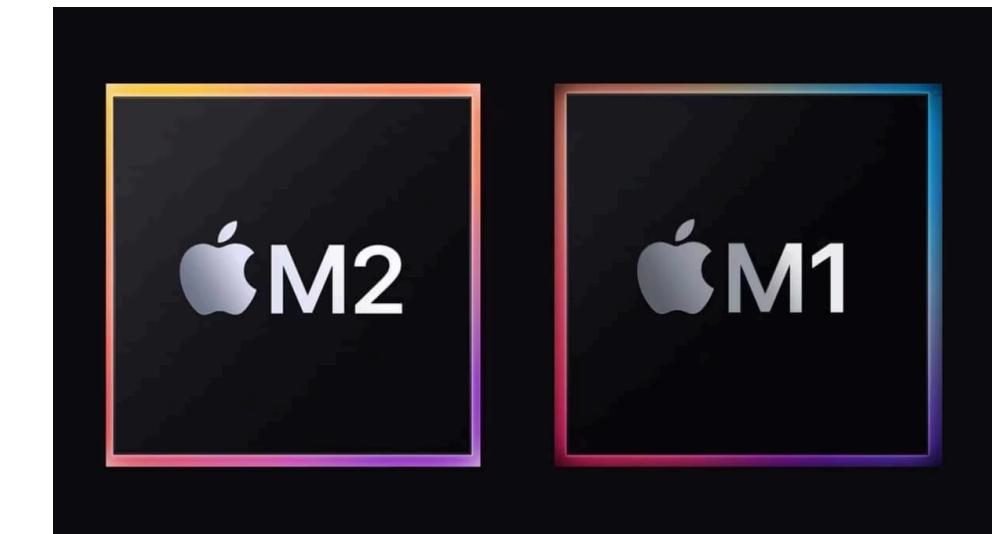
CoreAudioデバイスのメーターはiOSではサポートされていません。

Meter Bridgeは、Mini Meter、Massive Meter、Massive Meter Proプラグインで使用する場合、いくつかの制限があります。

Meter Bridgeは、Massive Meter Proプラグインと接続することで、さらなる機能を発揮します。

Meter Bridgeは、Meter Bridge Proプラグインが動作する複数のPro Toolsシステムに接続できます。

Meter BridgeをMassive Meterプラグイン(AAXまたはVST3)に接続する場合、制限があります。このアプリケーションでは、システム・プラグイン・ホスト(Pro Toolsまたは他のDAW)しか一度に接続できません。Massive MeterとMassive Meter Proプラグインをミックスすることはできません。



About Us

Evergreen Audio Design Groupは、Meter BridgeとMassive Meterのデザイナーでありソフトウェア設計者でもあるボブ・ブラウンによって設立されました。

ボブ・ブラウンはメディア業界のソフトウェア・エンジニアとして長年活躍している。DigidesignおよびAvidソフトウェア・エンジニアリング・チームのチーム・メンバーとして活躍。Pro Toolsソフトウェア・チームの一員として、Avid Satellite、オーディオ/ビデオ同期、コラボレーション、ファイル相互運用性、その他多くの機能に携わりました。また、DTS(Xperi)のイマーシブ・オーディオ・ソフトウェア・チームの一員として、MDA Creator Suiteを含むDTS|Xコンテンツ制作ツールの開発にも携わりました。